

第6次瀬戸市総合計画
市民アンケート調査
【結果報告書】

令和4年12月

瀬戸市

目次

1	調査の概要	1
	(1)調査目的	2
	(2)調査項目	2
	(3)調査方法	2
	(4)回収結果	2
	(5)報告書の見方	3
2	アンケート調査 調査結果	5
	(1)回答者の属性について	6
	(2)住みやすさの評価について	9
	(3)住み続けたいという意向について	12
	(4)まちへの愛着について	15
	(5)まちづくりに対する市民の意識について	18
	(6)力を入れていくべき分野について	54
3	参考資料 調査票	59

1 調査の概要

(1)調査目的

本市では、平成 29 年度（2017 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までを計画期間とする「第 6 次瀬戸市総合計画」を策定し、将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」実現のため、3つの都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」「地域に住まう市民が自立し支えあい、笑顔あふれるまち」を掲げ、各都市像を達成するための取り組みを展開しています。

この計画におきましては、さまざまな「統計データ」と市民の皆さまの意向を伺う「アンケート調査」から具体的な数値指標を設定し、本市の目指すべき「将来像」の達成の度合いを測ることとしています。

本調査は、瀬戸市民のまちづくり等への意識を把握し、将来像及び都市像の達成度合いを確認にすることを目的として実施しました。

(2)調査項目

- ①回答者の属性について
- ②住みやすさの評価について
- ③住み続けたいという意向について
- ④まちへの愛着について
- ⑤まちづくりに対する市民の意識について
- ⑥力を入れていくべき分野について

(3)調査方法

- ①調査対象者 : 令和 4 年 8 月現在瀬戸市に居住している
満 18 歳以上 80 歳未満の市民 2,000 人
- ②抽出法 : 住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③調査期間 : 令和 4 年 9 月 14 日～令和 4 年 10 月 5 日
- ④調査方法 : 郵送による配布、回収は郵送方式及びWEB 回答方式

(4)回収結果

配布数	有効回収数	回収率
2,000 件	847 件	42.4%

(5) 報告書の見方

●「n」について

グラフ中の「n」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数を示します。

●選択肢の記載について

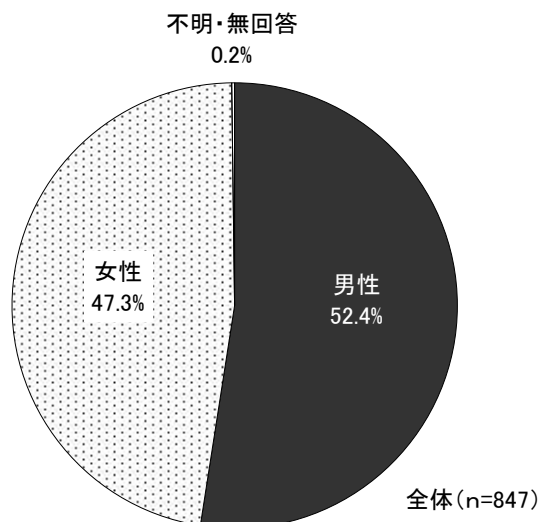
グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。

2 アンケート調査 調査結果

(1)回答者の属性について

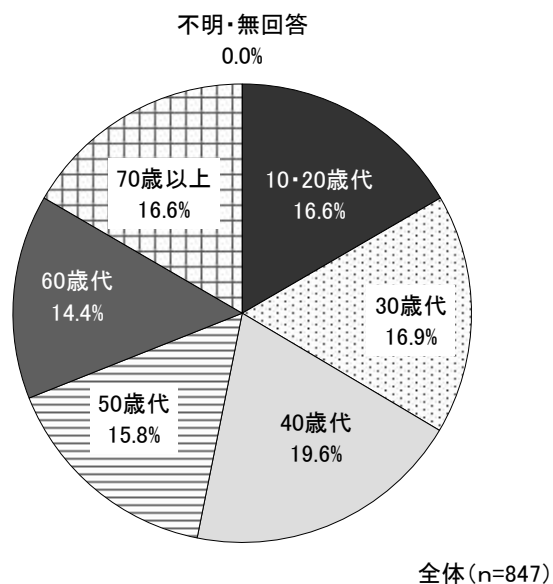
問1(1) 性別

回答者の性別の割合は、「男性」が52.4%、「女性」が47.3%となっています。



問1(2) 年齢

回答者の年齢別の割合は、「40歳代」が19.6%と最も多く、次いで「30歳代」が16.9%となっています。

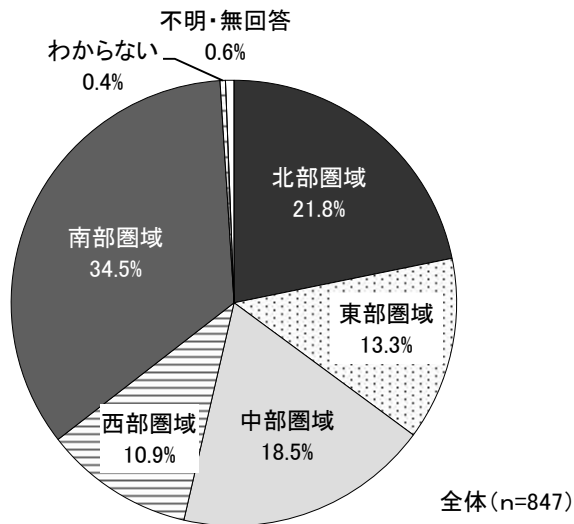


問1(3) お住まいの地域

※地区ごとの傾向をみるため、本報告書では「お住まいの地域」を介護保険の「日常生活圏域」に分類しました。

なお、以降のクロス集計は「日常生活圏域」で算出しています。

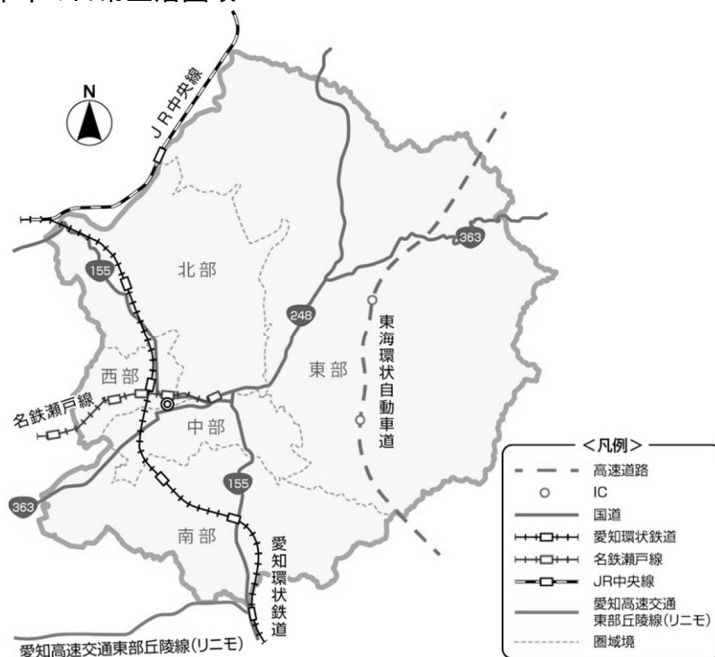
回答者の居住地は、圏域別にみると、「南部圏域」が34.5%、「北部圏域」が21.8%と高くなっています。



■連区と日常生活圏域の対応表

北部圏域	東部圏域	中部圏域	西部圏域	南部圏域
道 泉 深 川 水 野 西 陵	古瀬戸 東 明 品 野 下品野	祖母懐 陶 原 長 根	效 範 水 南	原山台 萩山台 八幡台 山 口 本 地 菱 野 新 郷

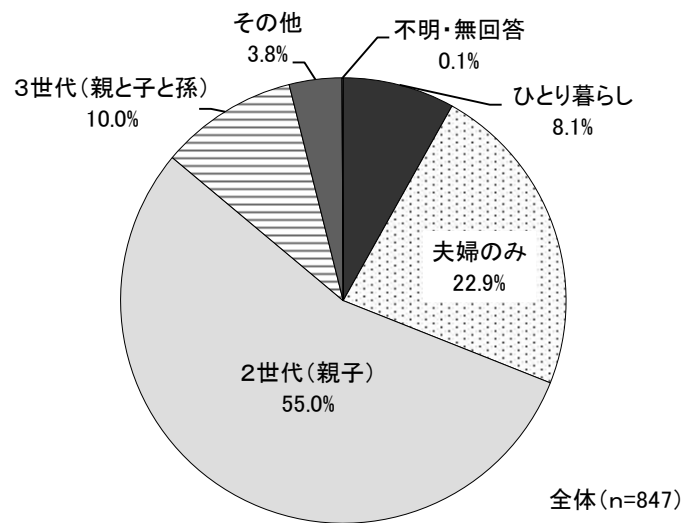
■本市の日常生活圏域



資料：瀬戸市高齢者総合計画

問1(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「2世代(親子)」が55.0%と5割を超えて高くなっています。次いで、「夫婦のみの世帯」が22.9%となっています。



(2) 住みやすさの評価について

問2 あなたにとって、瀬戸市は住みやすいところですか。(単数回答)

問2の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『住みやすい』…「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせたもの

『住みにくい』…「住みにくい」と「やや住みにくい」を合わせたもの

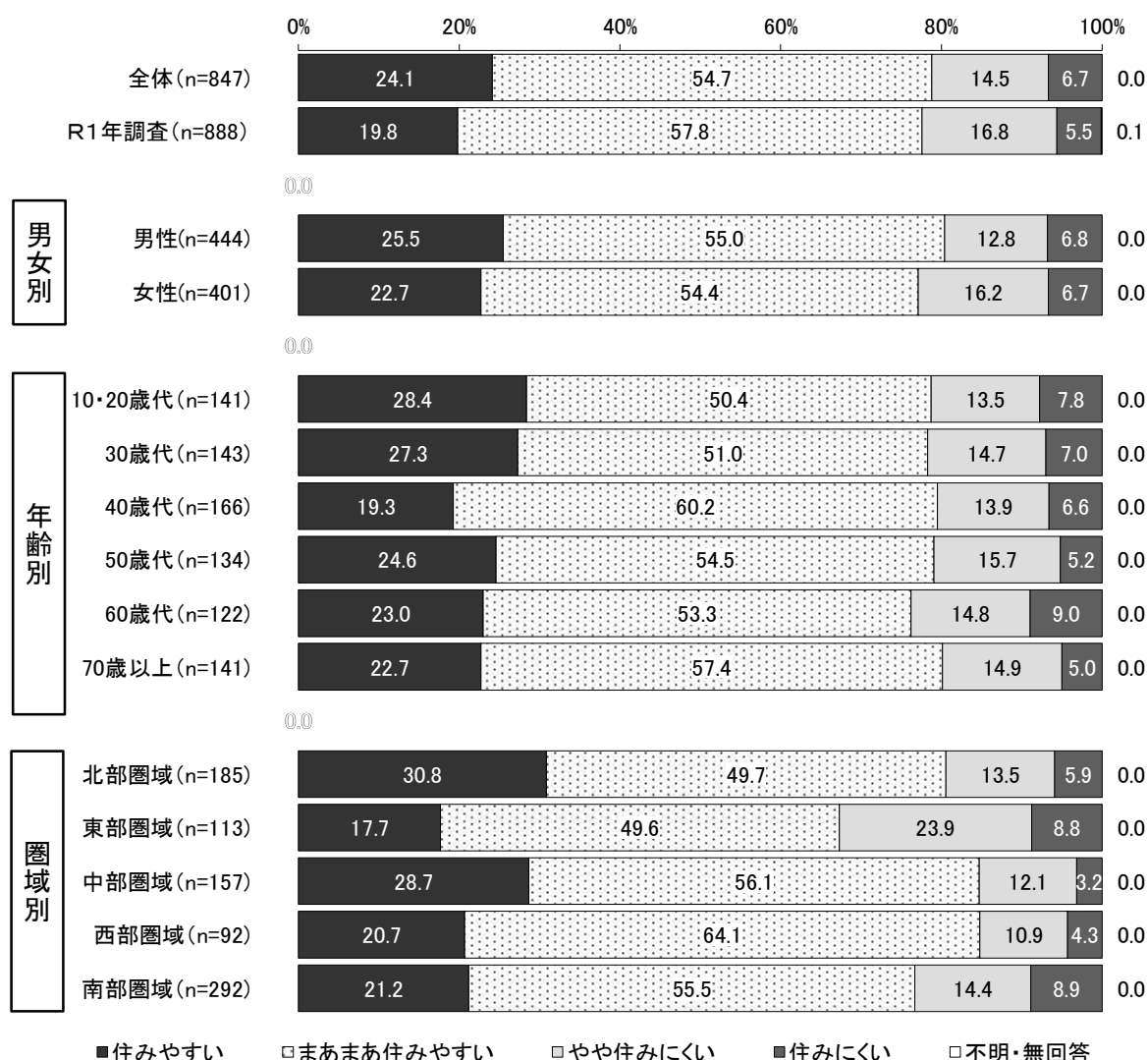
『住みやすい』 78.8% > 『住みにくい』 21.2%

住みやすさについて、全体では『住みやすい』が78.8%、『住みにくい』が21.2%となっています。R1年調査では、『住みやすい』が77.6%となっており、今回調査が1.2ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『住みやすい』が80.5%と女性と比較して3.4ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられませんが、40歳代の「住みやすい」が2割以下と低くなっています。

圏域別にみると、『住みやすい』が中部、西部圏域でそれぞれ84.8%と高く、『住みにくい』が東部圏域で32.7%と最も高くなっています。



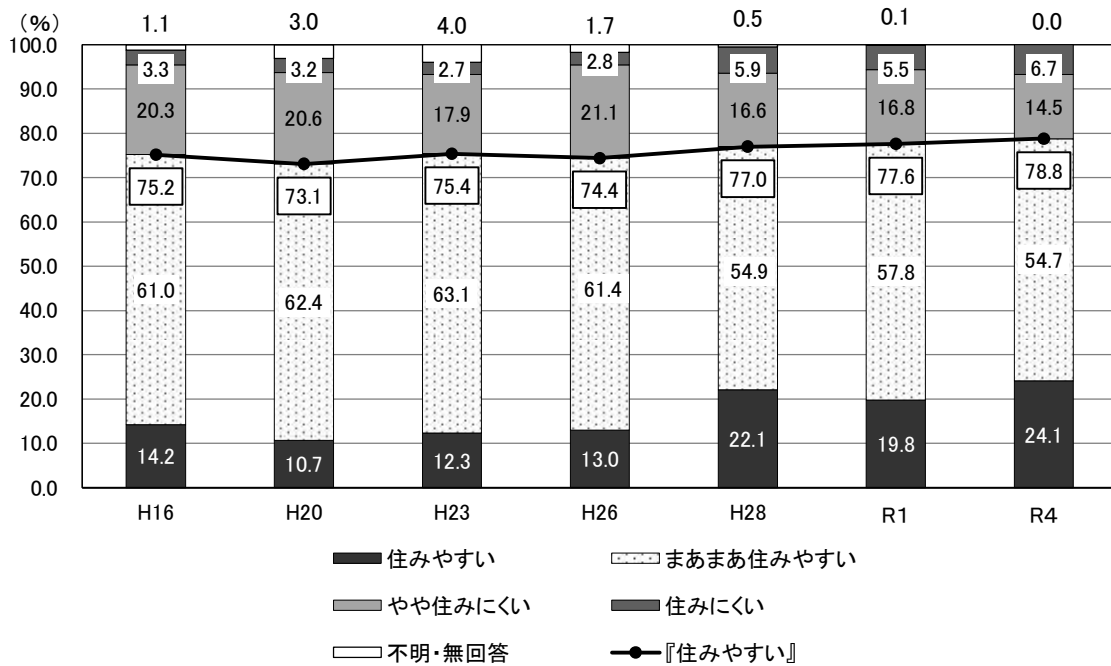
経年比較

■あなたにとって、瀬戸市は住みやすいところですか。(単数回答)

全体では、『住みやすい』の割合は、平成26年以降高くなっています。

男女別にみると、令和4年の男性の『住みやすい』の割合が80.5%となり、これまでの調査で最も高い数値となりました。また、女性の『住みやすい』の割合は、令和元年に比べ0.7ポイント低くなっていますが、平成16年以降70.0%を下回っていません。

年齢別にみると、『住みやすい』の割合が、60歳代を除くすべての年代で、令和元年より増加しています。30歳代～50歳代は、これまでの調査で最も高い数値となりました。



属性	調査時点	H16 ～ H26 H28 ～ R4	大変 住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	大変 住みにくい	不明・ 無回答	『住みやすい』	『住みにくい』
			住みやすい	まあまあ 住みやすい	やや 住みにくい	住みにくい			
全体	H16		14.2	61.0	20.3	3.3	1.1	75.2	23.6
	H20		10.7	62.4	20.6	3.2	3.0	73.1	23.8
	H23		12.3	63.1	17.9	2.7	4.0	75.4	20.6
	H26		13.0	61.4	21.1	2.8	1.7	74.4	23.9
	H28		22.1	54.9	16.6	5.9	0.5	77.0	22.5
	R1		19.8	57.8	16.8	5.5	0.1	77.6	22.3
	R4		24.1	54.7	14.5	6.7	0.0	78.8	21.2
男女別	男性	H16	13.9	62.9	19.9	3.0	0.3	76.8	22.9
		H20	11.6	62.5	20.9	3.2	1.8	74.1	24.1
		H23	12.4	61.6	18.5	4.2	3.4	74.0	22.7
		H26	15.7	61.6	17.5	3.7	1.5	77.3	21.2
		H28	23.0	54.8	15.6	6.4	0.2	77.8	22.0
		R1	20.0	57.3	16.8	5.8	0.0	77.4	22.6
		R4	25.5	55.0	12.8	6.8	0.0	80.5	19.6
	女性	H16	14.6	60.4	21.0	3.6	0.3	75.0	24.6
		H20	10.1	62.2	20.5	3.3	4.0	72.3	23.8
		H23	12.3	64.7	17.6	1.5	4.0	77.0	19.1
		H26	10.5	61.2	24.8	1.9	1.5	71.7	26.7
		H28	21.2	55.3	17.5	5.6	0.4	76.5	23.1
		R1	19.6	58.2	16.8	5.2	0.2	77.8	22.0
		R4	22.7	54.4	16.2	6.7	0.0	77.1	22.9
年齢	10・20歳代 ※H28までは20歳代のみ	H16	12.9	57.9	25.8	3.4	0.0	70.8	29.2
		H20	14.5	64.5	15.8	5.3	0.0	79.0	21.1
		H23	13.3	70.0	13.3	1.7	1.7	83.3	15.0
		H26	21.9	57.0	20.2	0.9	0.0	78.9	21.1
		H28	24.0	51.2	14.4	10.4	0.0	75.2	24.8
		R1	19.6	54.2	18.7	7.5	0.0	73.8	26.2
		R4	28.4	50.4	13.5	7.8	0.0	78.8	21.3
	30歳代	H16	8.3	63.9	24.9	3.5	0.2	72.2	28.4
		H20	16.0	57.2	21.9	4.3	0.5	73.2	26.2
		H23	13.7	52.9	29.4	3.9	0.0	66.6	33.3
		H26	13.9	59.3	24.1	0.9	1.9	73.2	25.0
		H28	23.8	46.7	24.6	4.9	0.0	70.5	29.5
		R1	19.0	57.5	18.3	4.6	0.7	76.5	22.9
		R4	27.3	51.0	14.7	7.0	0.0	78.3	21.7
	40歳代	H16	11.0	64.8	20.8	3.3	0.2	75.8	24.1
		H20	9.2	69.1	17.1	3.9	0.7	78.3	21.0
		H23	16.4	58.6	20.7	3.4	0.9	75.0	24.1
		H26	10.0	66.7	17.4	4.5	1.5	76.7	21.9
		H28	29.5	49.7	15.8	4.9	0.0	79.2	20.7
		R1	15.4	62.5	15.9	6.3	0.0	77.9	22.1
		R4	19.3	60.2	13.9	6.6	0.0	79.5	20.5
	50歳代	H16	11.3	63.4	21.2	3.8	0.3	74.7	25.0
		H20	6.8	58.1	29.8	1.6	3.7	64.9	31.4
		H23	9.0	66.0	17.0	5.3	2.7	75.0	22.3
		H26	14.9	56.7	26.1	0.7	1.5	71.6	26.8
		H28	15.7	60.4	19.5	4.4	0.0	76.1	23.9
		R1	19.7	52.6	19.7	8.0	0.0	72.3	27.7
		R4	24.6	54.5	15.7	5.2	0.0	79.1	20.9
60歳代	H16	15.1	62.0	19.3	3.2	0.5	77.1	22.5	
	H20	7.3	66.3	19.9	2.4	4.1	73.6	22.3	
	H23	8.5	68.2	18.9	1.1	3.4	76.7	20.0	
	H26	8.7	65.0	21.3	2.2	2.7	73.7	23.5	
	H28	16.8	56.7	18.8	6.7	1.0	73.5	25.5	
	R1	25.2	62.2	11.0	1.6	0.0	87.4	12.6	
	R4	23.0	53.3	14.8	9.0	0.0	76.3	23.8	
70歳以上	H16	26.7	56.5	13.5	2.8	0.5	83.2	16.3	
	H20	13.9	60.0	15.2	3.6	7.3	73.9	18.8	
	H23	18.3	56.7	14.7	2.8	7.5	75.0	17.5	
	H26	13.5	58.9	20.5	5.4	1.6	72.4	25.9	
	H28	23.2	61.4	9.7	5.3	0.5	84.6	15.0	
	R1	22.4	55.1	17.3	5.1	0.0	77.6	22.4	
	R4	22.7	57.4	14.9	5.0	0.0	80.1	19.9	

(3) 住み続けたいという意向について

問3 あなたは、今後も瀬戸市に住み続けたいですか。(単数回答)

問3の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『市内に住み続けたい』…「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所で住み続けたい」を合わせたもの

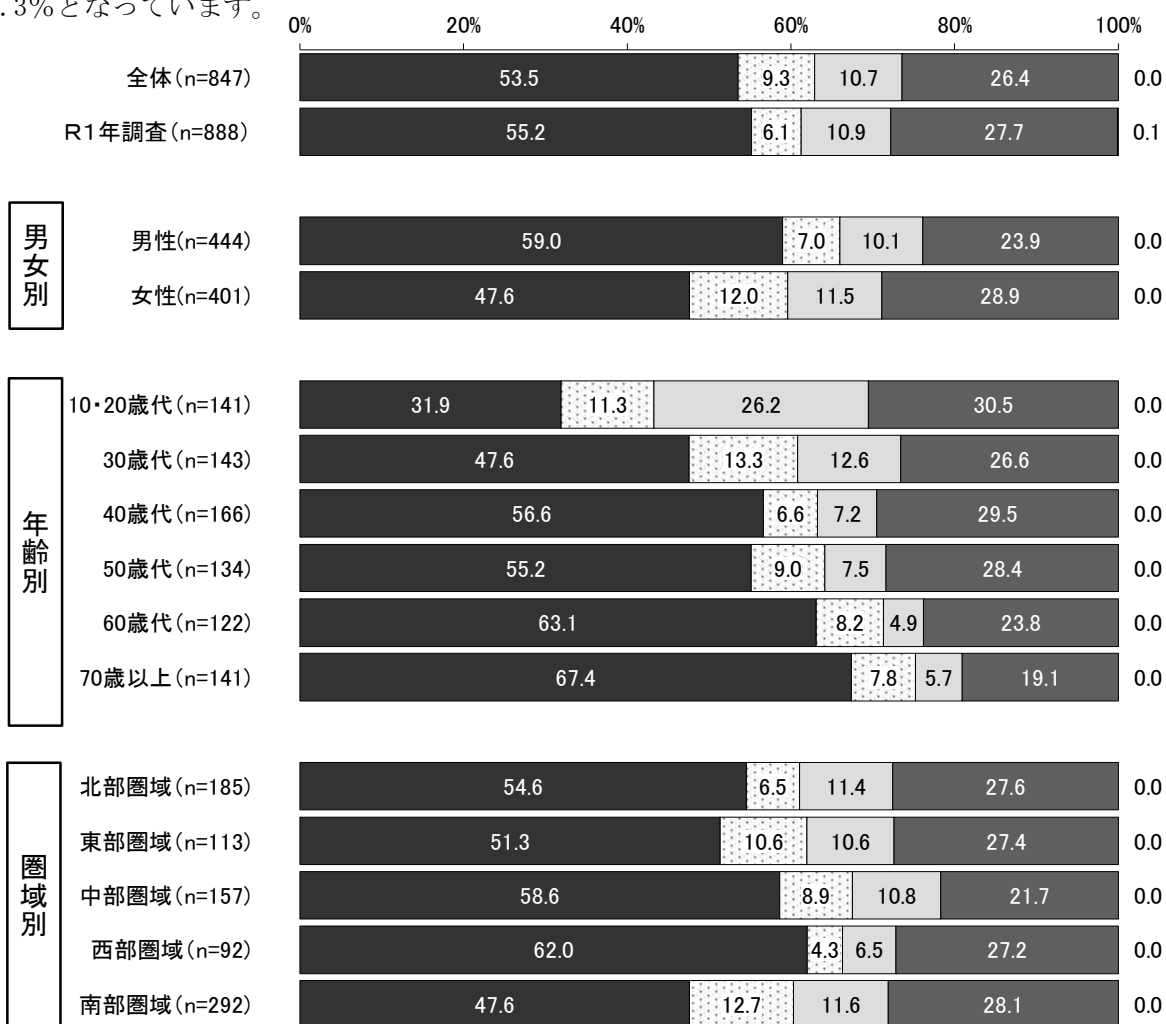
『市内に住み続けたい』 62.8% > 「市外に移りたい」 10.7%

瀬戸市に住み続けたいかについて、全体では『市内に住み続けたい』が62.8%、「市外に移りたい、または移る予定である」が10.7%となっています。R1年調査では、『市内に住み続けたい』が61.3%となっており、今回調査が1.5ポイント高くなっています。

男女別にみると、『市内に住み続けたい』が男性で66.0%と、女性と比較して10ポイントを超える差はみられませんが、6.4ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、10・20歳代の「市外に移りたい、または移る予定である」が26.2%と他の年代と比較して高くなっています。

圏域別にみると、『市内に住み続けたい』が中部圏域で67.5%と最も高く、次いで西部圏域で66.3%となっています。



- 今の場所に住み続けたい
- 市内の別の場所で住み続けたい
- 市外に移りたい、または移る予定である
- わからない
- 不明・無回答

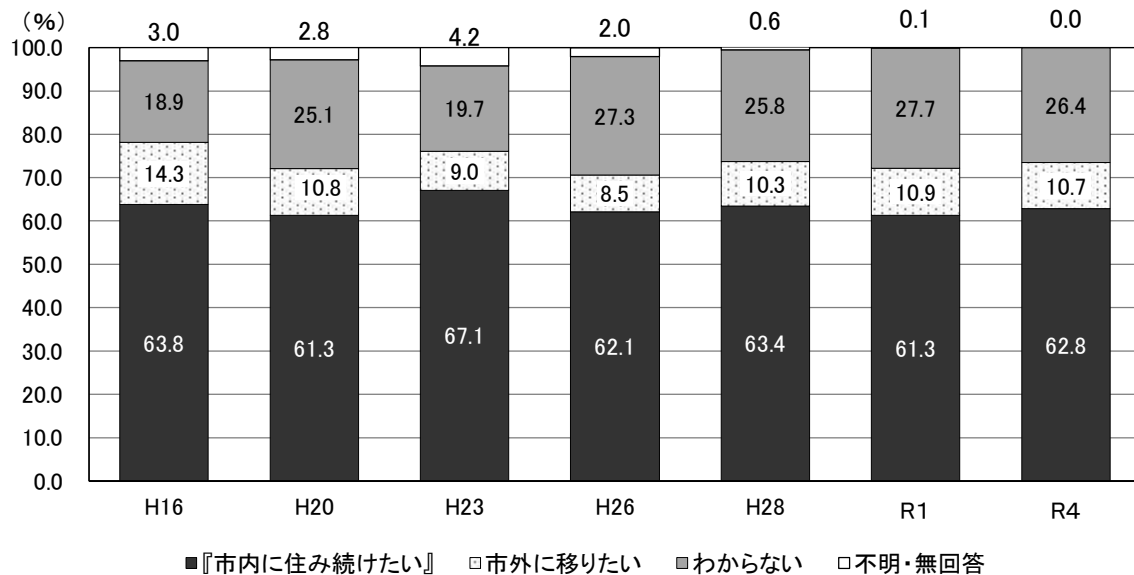
経年比較

■あなたは、今後も瀬戸市に住み続けたいですか。(単数回答)

全体では、『市内に住み続けたい』は、平成23年に60%台後半となっていますが、その他の調査年では60%台前半で増減を繰り返しており、令和4年は令和元年からわずかに高くなっています。また、「市外に移りたい、または移る予定である」は、10%前後となっています。

男女別にみると、『市内に住み続けたい』は、これまでの調査の全ての年で、男性の割合が女性の割合に比べて高くなっています。また、女性の「市外に移りたい、または移る予定である」の割合は、平成23年から年々高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上の『市内に住み続けたい』の割合は、各調査年でどの年代よりも高くなっています。



属性		調査時点	今の場所に 住み続けたい	市内の別の場所で 住み続けたい	市外に移りたい、 または 移る予定である	わからない	不明・ 無回答	『市内に 住み続けたい』
全 体		H16	54.7	9.1	14.3	18.9	3.0	63.8
		H20	51.2	10.1	10.8	25.1	2.8	61.3
		H23	58.8	8.3	9.0	19.7	4.2	67.1
		H26	53.6	8.5	8.5	27.3	2.0	62.1
		H28	57.8	5.6	10.3	25.8	0.6	63.4
		R1	55.2	6.1	10.9	27.7	0.1	61.3
		R4	53.5	9.3	10.7	26.4	0.0	62.8
男 女 別	男 性	H16	59.0	9.0	12.6	18.0	1.5	68.0
		H20	51.6	10.9	9.8	25.9	1.8	62.5
		H23	60.3	9.2	9.5	17.4	3.6	69.5
		H26	53.9	10.5	7.2	26.4	2.0	64.4
		H28	59.8	4.7	10.1	24.8	0.6	64.5
		R1	58.3	6.5	10.7	24.5	0.0	64.8
		R4	59.0	7.0	10.1	23.9	0.0	66.0
	女 性	H16	51.9	9.3	15.9	20.1	2.8	61.2
		H20	50.8	9.5	11.6	24.6	3.5	60.3
		H23	57.7	7.5	8.8	21.8	4.2	65.2
		H26	53.3	6.6	9.9	28.3	1.9	59.9
		H28	56.1	6.4	10.6	26.8	0.2	62.5
		R1	52.3	5.7	11.1	30.7	0.2	58.0
		R4	47.6	12.0	11.5	28.9	0.0	59.6
年 齢	10・20歳代 ※H28までは20歳代 のみ	H16	22.2	11.0	30.3	35.7	0.8	33.2
		H20	27.6	15.8	14.5	42.1	0.0	43.4
		H23	25.0	21.7	23.3	28.3	1.7	46.7
		H26	36.0	7.9	14.9	41.2	0.0	43.9
		H28	32.8	8.0	25.6	33.6	0.0	40.8
		R1	28.0	5.6	34.6	31.8	0.0	33.6
		R4	31.9	11.3	26.2	30.5	0.0	43.2
	30歳代	H16	40.1	9.1	22.9	27.2	0.8	49.2
		H20	44.9	12.8	15.0	26.7	0.5	57.7
		H23	49.0	3.9	13.7	33.3	0.0	52.9
		H26	42.6	11.1	9.3	35.2	1.9	53.7
		H28	41.8	3.3	13.9	41.0	0.0	45.1
		R1	52.3	6.5	11.8	29.4	0.0	58.8
	R4	47.6	13.3	12.6	26.6	0.0	60.9	
	40歳代	H16	50.3	11.2	14.5	23.2	0.8	61.5
		H20	44.7	8.6	13.8	32.2	0.7	53.3
		H23	52.6	7.8	8.6	30.2	0.9	60.4
		H26	46.8	9.0	11.4	30.8	2.0	55.8
		H28	59.6	5.5	8.7	26.2	0.0	65.1
		R1	53.4	4.3	7.2	34.6	0.5	57.7
	R4	56.6	6.6	7.2	29.5	0.0	63.2	
	50歳代	H16	56.3	8.7	15.5	17.1	2.4	65.0
		H20	45.5	6.8	13.1	31.4	3.1	52.3
		H23	55.9	11.2	10.1	19.1	3.7	67.1
		H26	55.2	9.0	9.0	23.9	3.0	64.2
		H28	58.5	4.4	10.7	26.4	0.0	62.9
		R1	55.5	8.0	10.9	25.5	0.0	63.5
	R4	55.2	9.0	7.5	28.4	0.0	64.2	
	60歳代	H16	66.3	9.9	8.0	13.3	2.5	76.2
		H20	58.1	11.0	5.7	21.5	3.7	69.1
H23		63.9	6.5	8.5	17.5	3.7	70.4	
H26		61.7	8.2	4.4	23.5	2.2	69.9	
H28		61.5	7.2	5.8	24.5	1.0	68.7	
R1		70.9	3.1	5.5	20.5	0.0	74.0	
R4	63.1	8.2	4.9	23.8	0.0	71.3		
70歳以上	H16	76.8	5.8	4.1	8.5	4.8	82.6	
	H20	70.9	8.5	6.7	7.3	6.7	79.4	
	H23	67.5	6.7	4.8	13.9	7.1	74.2	
	H26	68.6	7.0	4.9	17.3	2.2	75.6	
	H28	76.3	4.8	4.8	13.0	1.0	81.1	
	R1	66.0	9.0	3.2	21.8	0.0	75.0	
R4	67.4	7.8	5.7	19.1	0.0	75.2		

(4)まちへの愛着について

問4 あなたは、瀬戸市に愛着がありますか。(単数回答)

問4の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『愛着がある』…「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせたもの

『愛着がない』…「愛着はない」と「あまり愛着はない」を合わせたもの

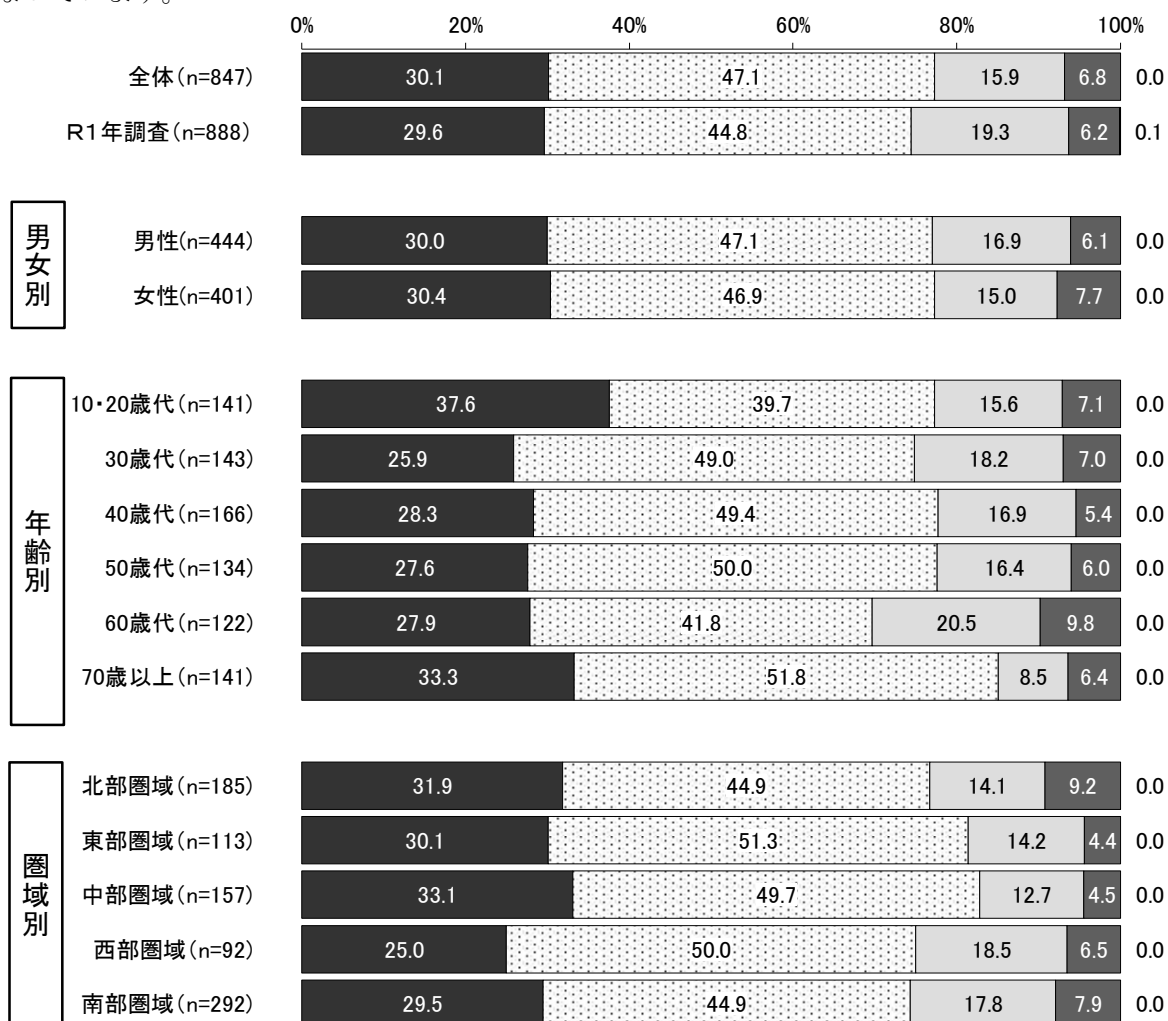
『愛着がある』77.2% > 『愛着がない』22.7%

瀬戸市への愛着について、全体では『愛着がある』が77.2%、『愛着がない』が22.7%となっています。R1年調査では、『愛着がある』が74.4%となっており、今回調査が2.8ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『愛着がある』が70歳以上で85.1%と最も高く、次いで40歳代で77.7%、50歳代で77.6%、10・20歳代で77.3%となっています。

圏域別にみると、『愛着がある』が中部圏域で82.8%と最も高く、次いで東部圏域で81.4%となっています。



■愛着がある □まあまあ愛着がある □あまり愛着はない ■愛着はない □不明・無回答

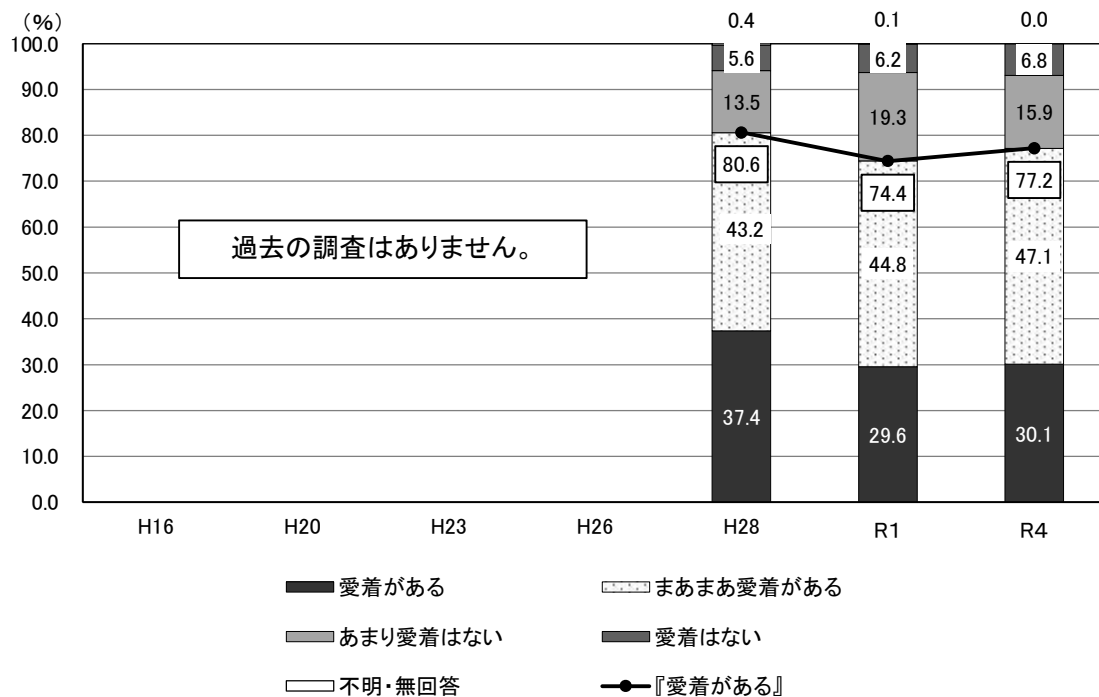
経年比較

■ あなたは、瀬戸市に愛着がありますか。(単数回答)

令和4年の『愛着がある』は77.2%で、令和元年から2.8ポイント高くなっています。

男女別にみると、『愛着がある』の割合が、各調査年と比較して、男性は低くなっています。

年齢別にみると、60歳代を除くすべての年代で『愛着がある』の割合が令和元年より高くなっています。70歳以上の『愛着がある』の割合は、平成28年と比較して低くなっていますが、令和4年の調査の中では、85.1%と最も高くなっています。



属性		調査時点	愛着がある	まあまあ 愛着がある	あまり 愛着はない	愛着はない	不明・ 無回答	『愛着がある』	『愛着はない』
全 体		H28	37.4	43.2	13.5	5.6	0.4	80.6	19.1
		R1	29.6	44.8	19.3	6.2	0.1	74.4	25.5
		R4	30.1	47.1	15.9	6.8	0.0	77.2	22.7
男 女 別	男 性	H28	39.6	42.1	12.1	6.0	0.2	81.7	18.1
		R1	32.6	44.5	17.5	5.4	0.0	77.2	22.8
		R4	30.0	47.1	16.9	6.1	0.0	77.1	23.0
	女 性	H28	35.3	44.5	14.8	5.2	0.2	79.8	20.0
		R1	26.8	45.1	20.9	7.0	0.2	71.9	27.9
		R4	30.4	46.9	15.0	7.7	0.0	77.3	22.7
年 齢	10・20歳代 ※H28は20 歳代のみ	H28	39.2	36.0	17.6	7.2	0.0	75.2	24.8
		R1	28.0	47.7	16.8	7.5	0.0	75.7	24.3
		R4	37.6	39.7	15.6	7.1	0.0	77.3	22.7
	30歳代	H28	30.3	48.4	13.9	7.4	0.0	78.7	21.3
		R1	22.9	41.8	25.5	9.8	0.0	64.7	35.3
		R4	25.9	49.0	18.2	7.0	0.0	74.9	25.2
	40歳代	H28	49.2	33.3	12.0	4.9	0.5	82.5	16.9
		R1	24.5	46.6	20.2	8.2	0.5	71.2	28.4
		R4	28.3	49.4	16.9	5.4	0.0	77.7	22.3
	50歳代	H28	34.0	48.4	12.6	4.4	0.6	82.4	17.0
		R1	28.5	43.8	21.9	5.8	0.0	72.3	27.7
		R4	27.6	50.0	16.4	6.0	0.0	77.6	22.4
	60歳代	H28	28.8	47.1	17.8	6.3	0.0	75.9	24.1
		R1	34.6	47.2	17.3	0.8	0.0	81.9	18.1
		R4	27.9	41.8	20.5	9.8	0.0	69.7	30.3
	70歳以上	H28	41.1	45.9	8.7	4.3	0.0	87.0	13.0
		R1	41.0	42.3	12.8	3.8	0.0	83.3	16.7
		R4	33.3	51.8	8.5	6.4	0.0	85.1	14.9

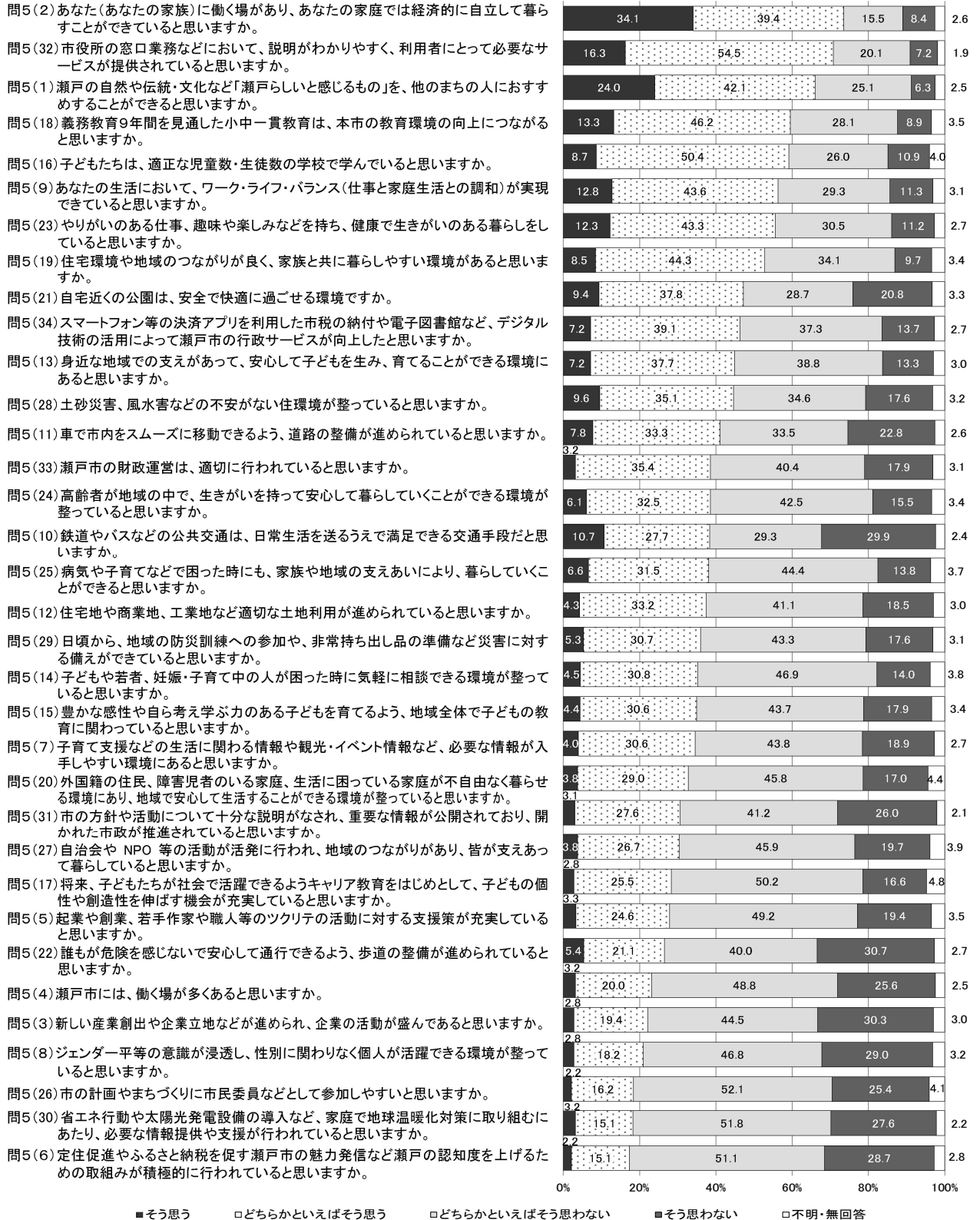
(5)まちづくりに対する市民の意識について

問5の選択肢にかかる表現は以下のように区分しており、このページ以降の文中においても反映されています。

『そう思う』 …「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの

『そう思わない』…「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせたもの

本市のまちづくりに対する意見について 34 項目の調査を行い、『そう思う』を比較し、高い順に整理しました。



R1年調査と今回調査の『そう思う』を比較し、ポイント差が大きい順に整理しました。

順位	設問	『そう思う』(%)		ポイント差
		R1	R4	
1	問5(3)新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。	14.6	22.2	7.6
2	問5(29)日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていますか。	29.8	36.0	6.2
3	問5(10)鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	32.8	38.4	5.6
4	問5(4)瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	19.0	23.2	4.2
4	問5(22)誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道の整備が進められていると思いますか。	22.3	26.5	4.2
6	問5(12)住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	33.6	37.5	3.9
7	問5(32)市役所の窓口業務などにおいて、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。	67.1	70.8	3.7
8	問5(33)瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	36.2	38.6	2.4
9	問5(6)定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。	15.1	17.3	2.2
10	問5(5)起業や創業、若手作家や職人等のソクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。	25.9	27.9	2.0
10	問5(28)土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	42.7	44.7	2.0
12	問5(21)自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	45.6	47.2	1.6
12	問5(16)子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	57.5	59.1	1.6
14	問5(31)市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	29.7	30.7	1.0
15	問5(17)将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	27.4	28.3	0.9
16	問5(23)やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどをもち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。	54.9	55.6	0.7
17	問5(2)あなた(あなたの家族)に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	72.9	73.5	0.6
18	問5(15)豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	34.5	35.0	0.5
19	問5(11)車で市内をスムーズに移動できるよう、道路の整備が進められていると思いますか。	41.0	41.1	0.1
20	問5(1)瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。	66.1	66.1	0.0
21	問5(19)住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	52.9	52.8	▲ 0.1
22	問5(26)市の計画やまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	20.3	18.4	▲ 1.9
23	問5(27)自治会やNPO等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。	33.0	30.5	▲ 2.5
24	問5(13)身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。	47.8	44.9	▲ 2.9
25	問5(25)病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。	47.1	38.1	▲ 9.0

※R1年調査から内容が変更された設問や新たに追加された設問は、比較対象としていません。

問5(1) 瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。(単数回答)

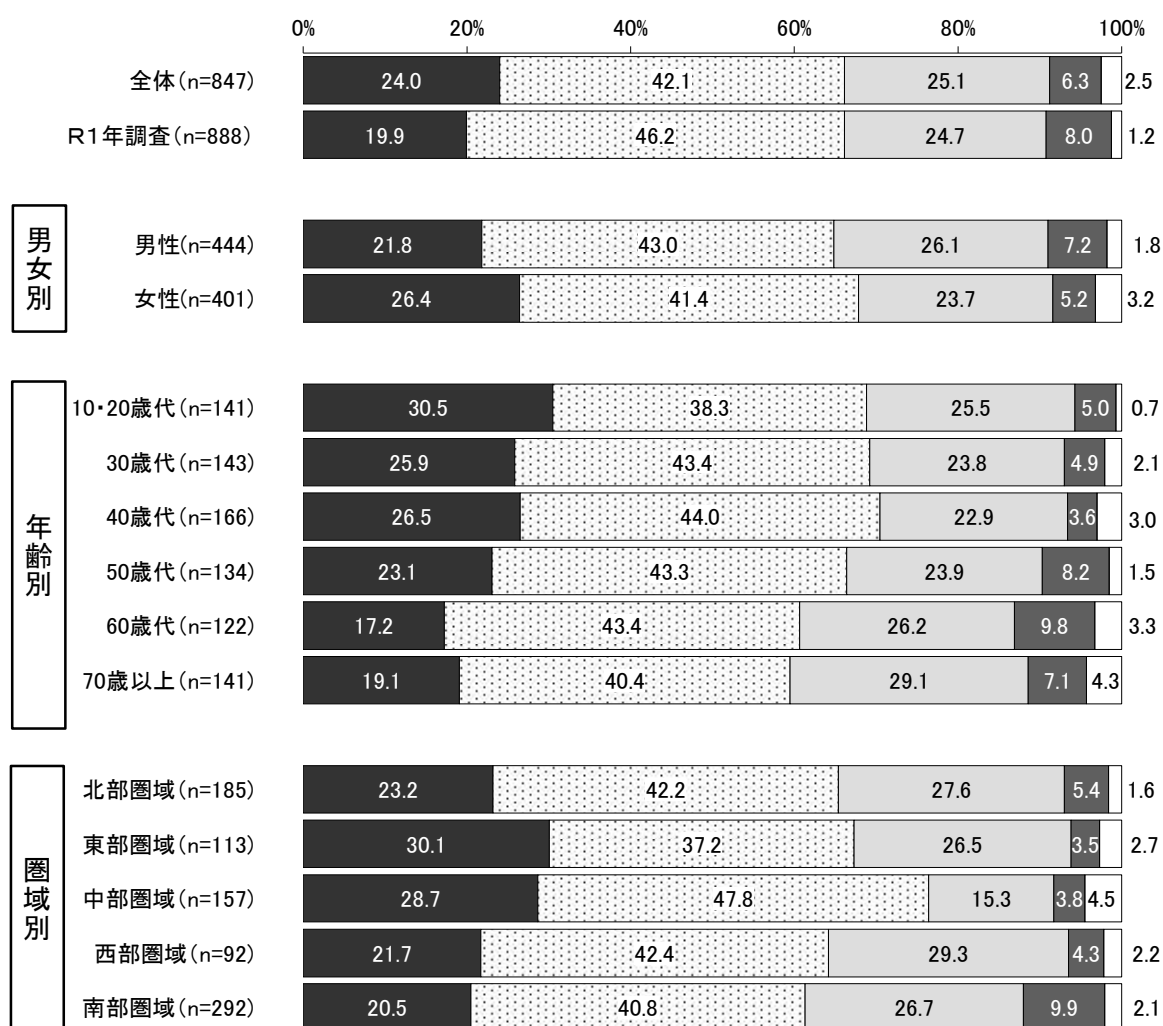
『そう思う』66.1% > 『そう思わない』31.4%

全体では『そう思う』が66.1%、『そう思わない』が31.4%となっています。R1年調査では、『そう思う』が66.1%となっており、今回調査と同数となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が40歳代で70.5%と最も高く、次いで30歳代で69.3%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で76.5%と最も高く、次いで東部圏域で67.3%となっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(2) あなた(あなたの家族)に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。(単数回答)

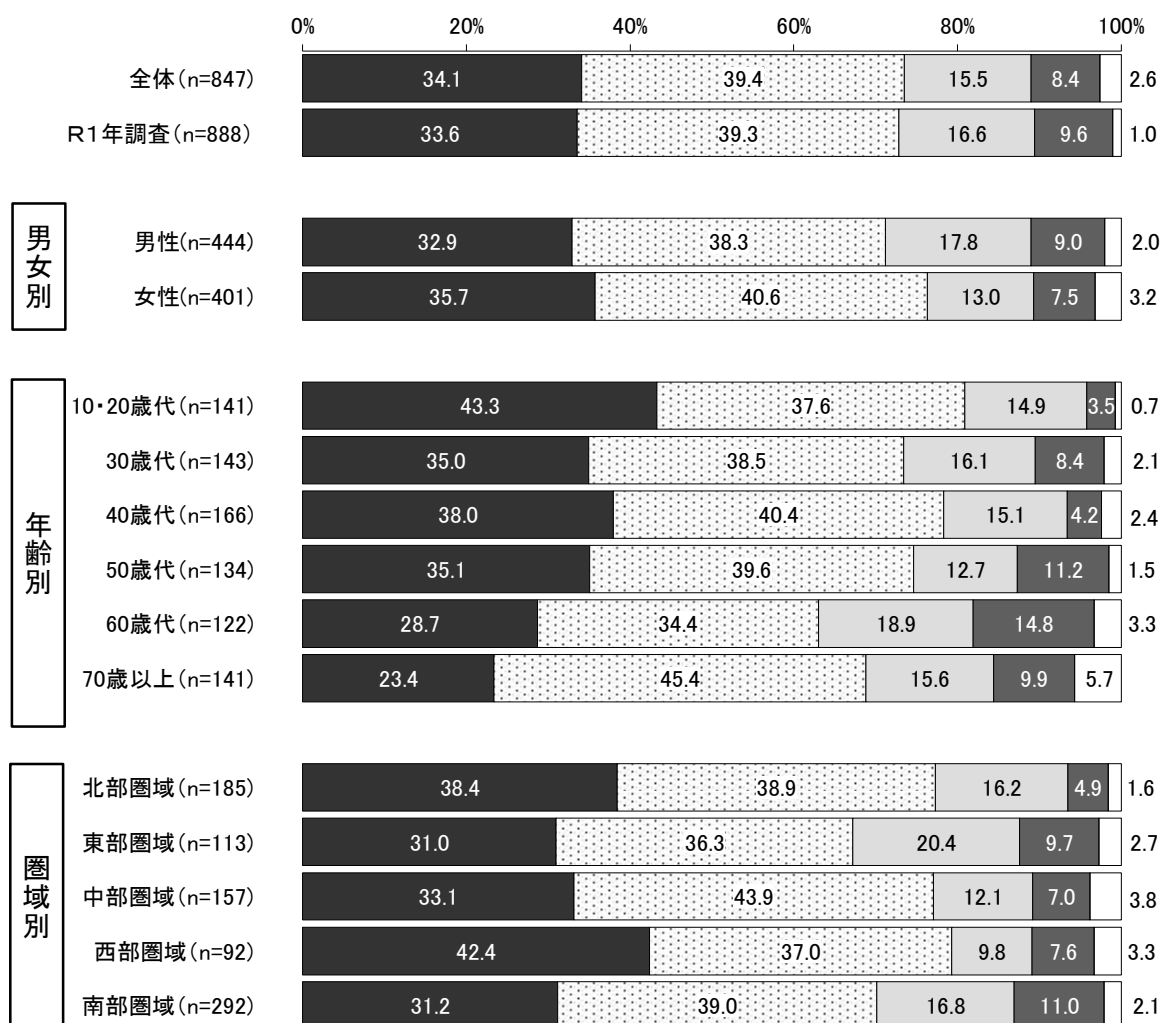
『そう思う』73.5% > 『そう思わない』23.9%

全体では『そう思う』が73.5%、『そう思わない』が23.9%となっています。R1年調査では、『そう思う』が72.9%となっており、今回調査が0.6ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、女性の『そう思う』が76.3%と男性と比較して5.1ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代の80.9%と最も高く、次いで40歳代で78.4%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部圏域で79.4%と最も高く、次いで北部圏域で77.3%となっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(3) 新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。
(単数回答)

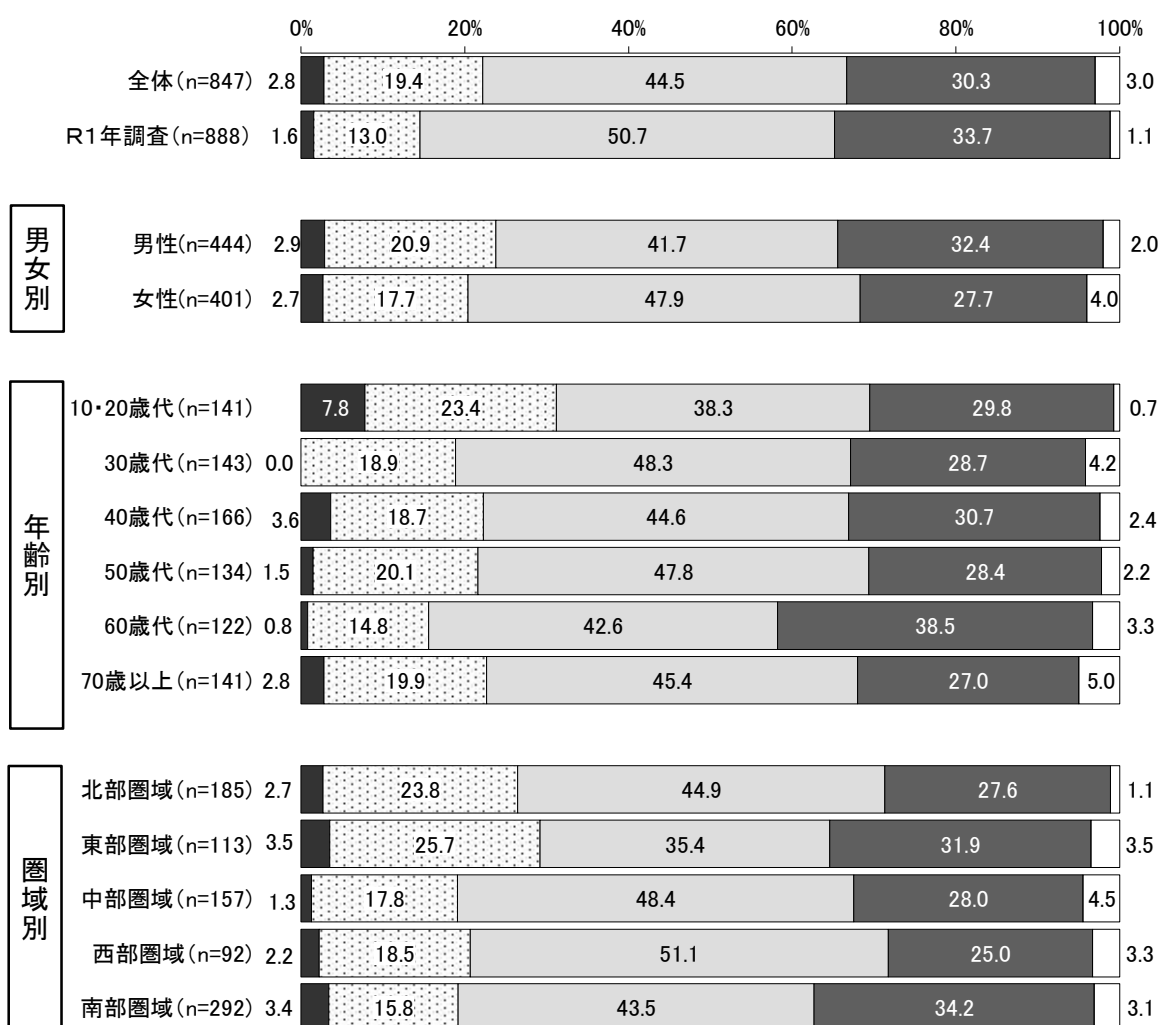
『そう思う』 22.2% < 『そう思わない』 74.8%

全体では『そう思う』が22.2%、『そう思わない』が74.8%となっています。R1年調査では、『そう思う』が14.6%となっており、今回調査が7.6ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が23.8%と女性と比較して3.4ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代の31.2%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で81.1%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が東部圏域で29.2%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で77.7%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(4) 瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。(単数回答)

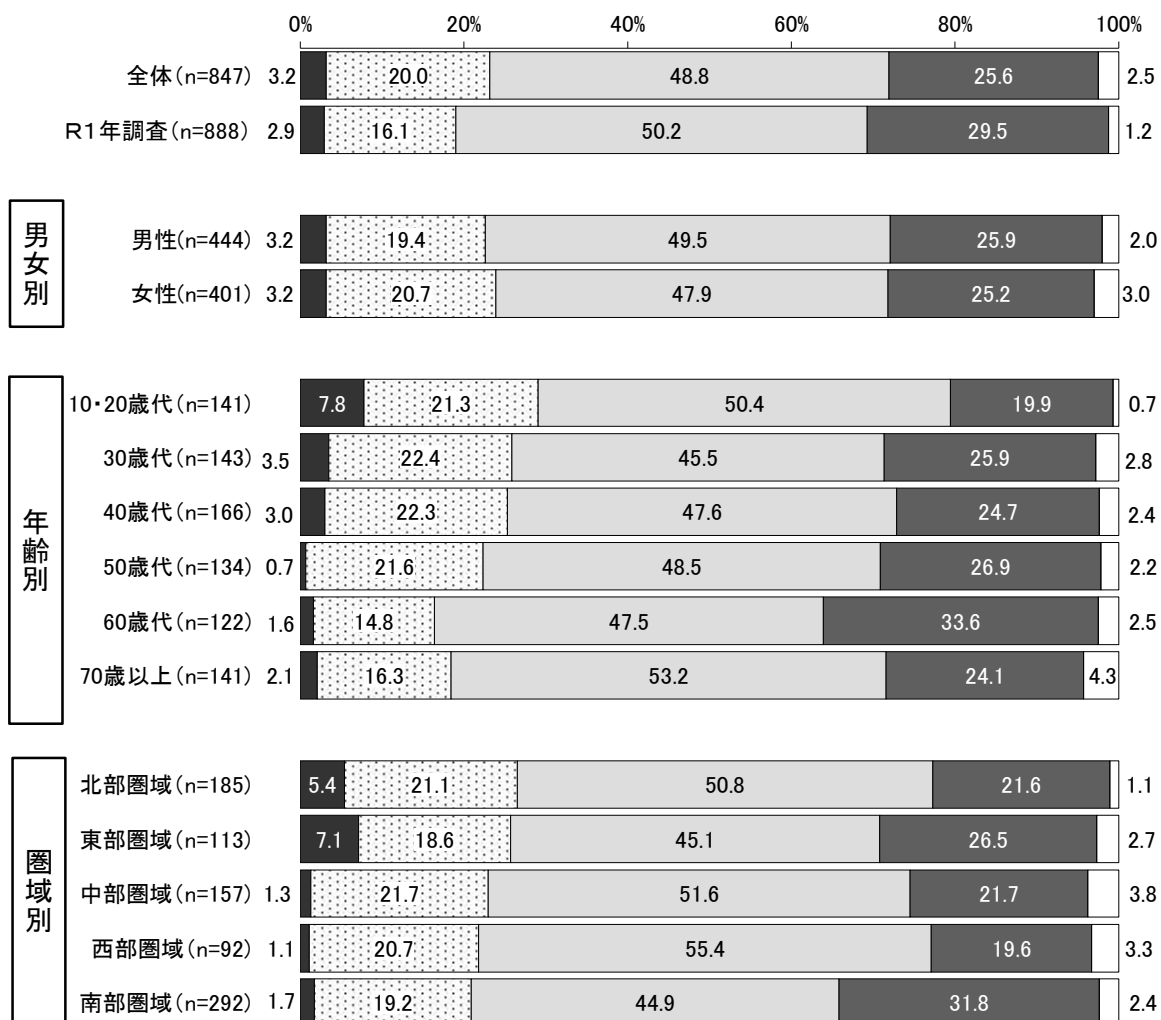
『そう思う』 23.2% < 『そう思わない』 74.4%

全体では『そう思う』が23.2%、『そう思わない』が74.4%となっています。R1年調査では、『そう思う』が19.0%となっており、今回調査が4.2ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で29.1%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で81.1%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で26.5%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で76.7%と最も高くなっています。



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

問5(5) 起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。(単数回答)

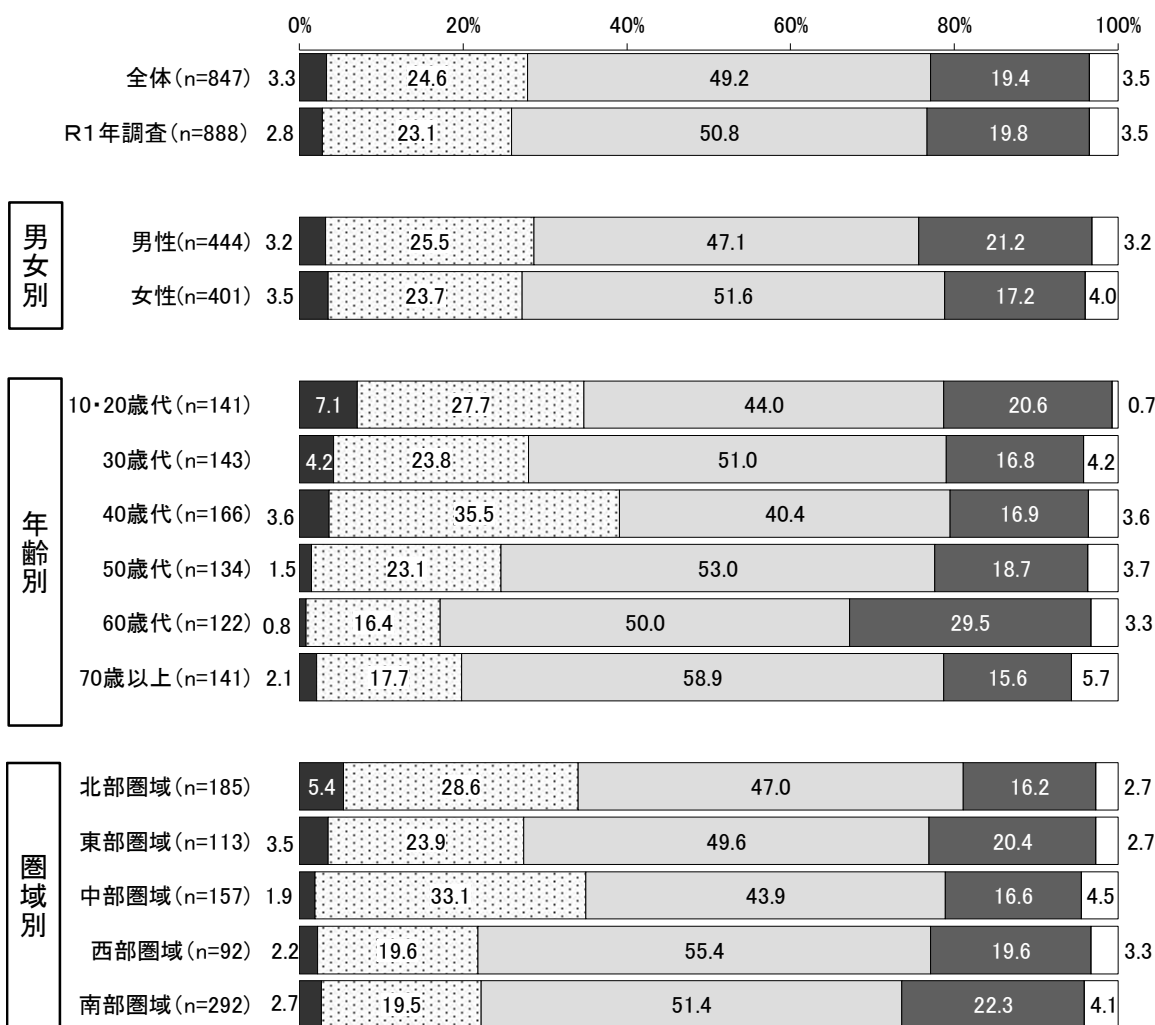
『そう思う』 27.9% < 『そう思わない』 68.6%

全体では『そう思う』が27.9%、『そう思わない』が68.6%となっています。R1年調査では、『そう思う』が25.9%となっており、今回調査が2.0ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が40歳代で39.1%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で79.5%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で35.0%と最も高く、『そう思わない』が西部圏域で75.0%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(6) 定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。(単数回答)

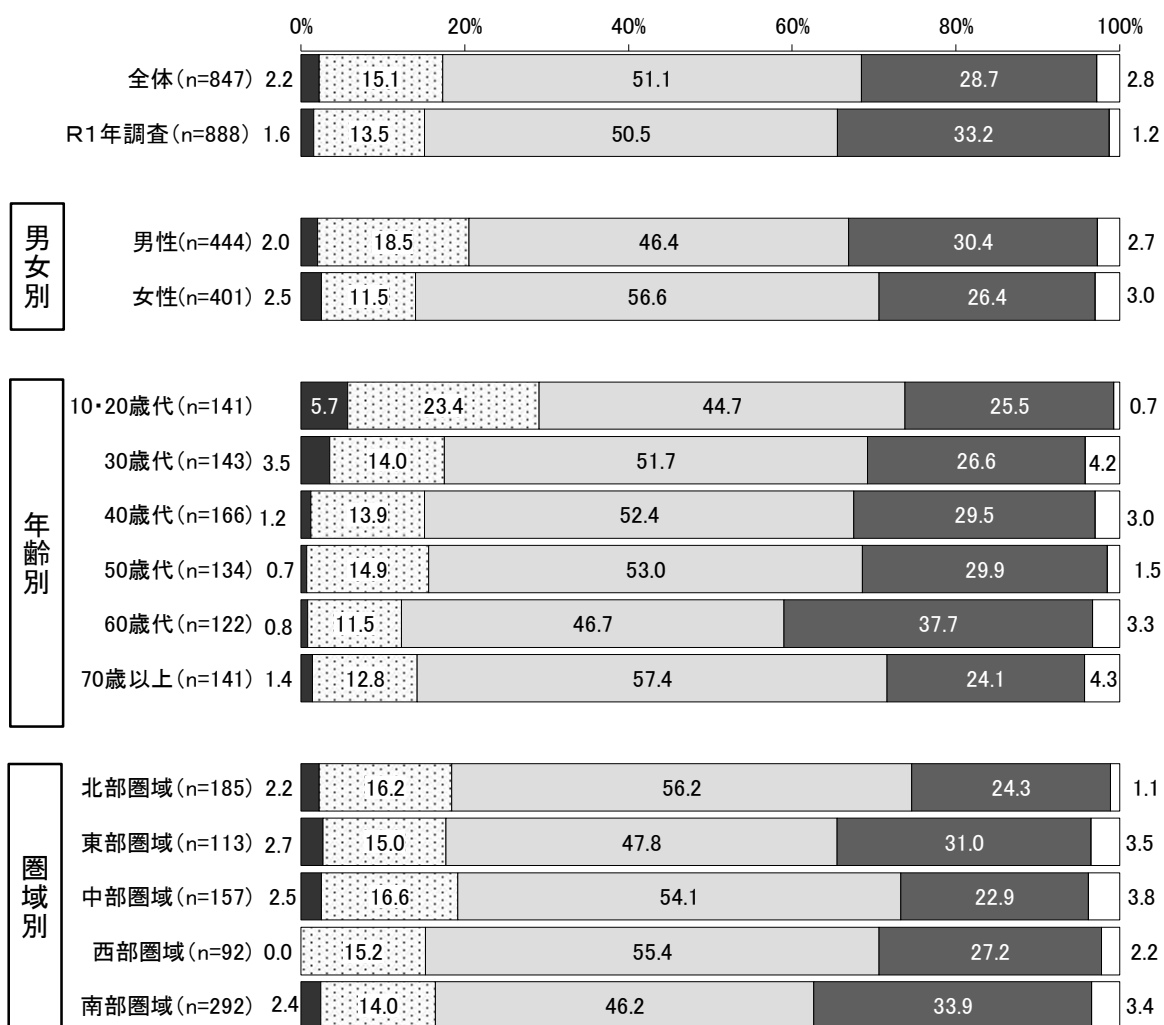
『そう思う』 17.3% < 『そう思わない』 79.8%

全体では『そう思う』が17.3%、『そう思わない』が79.8%となっています。R1年調査では、『そう思う』が15.1%となっており、今回調査が2.2ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が20.5%と女性と比較して6.5ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で29.1%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で84.4%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で19.1%と最も高く、『そう思わない』が西部圏域で82.6%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(7) 子育て支援などの生活に関わる情報や観光・イベント情報など、必要な情報が入手しやすい環境にあると思いますか。(単数回答)

『そう思う』 34.6% < 『そう思わない』 62.7%

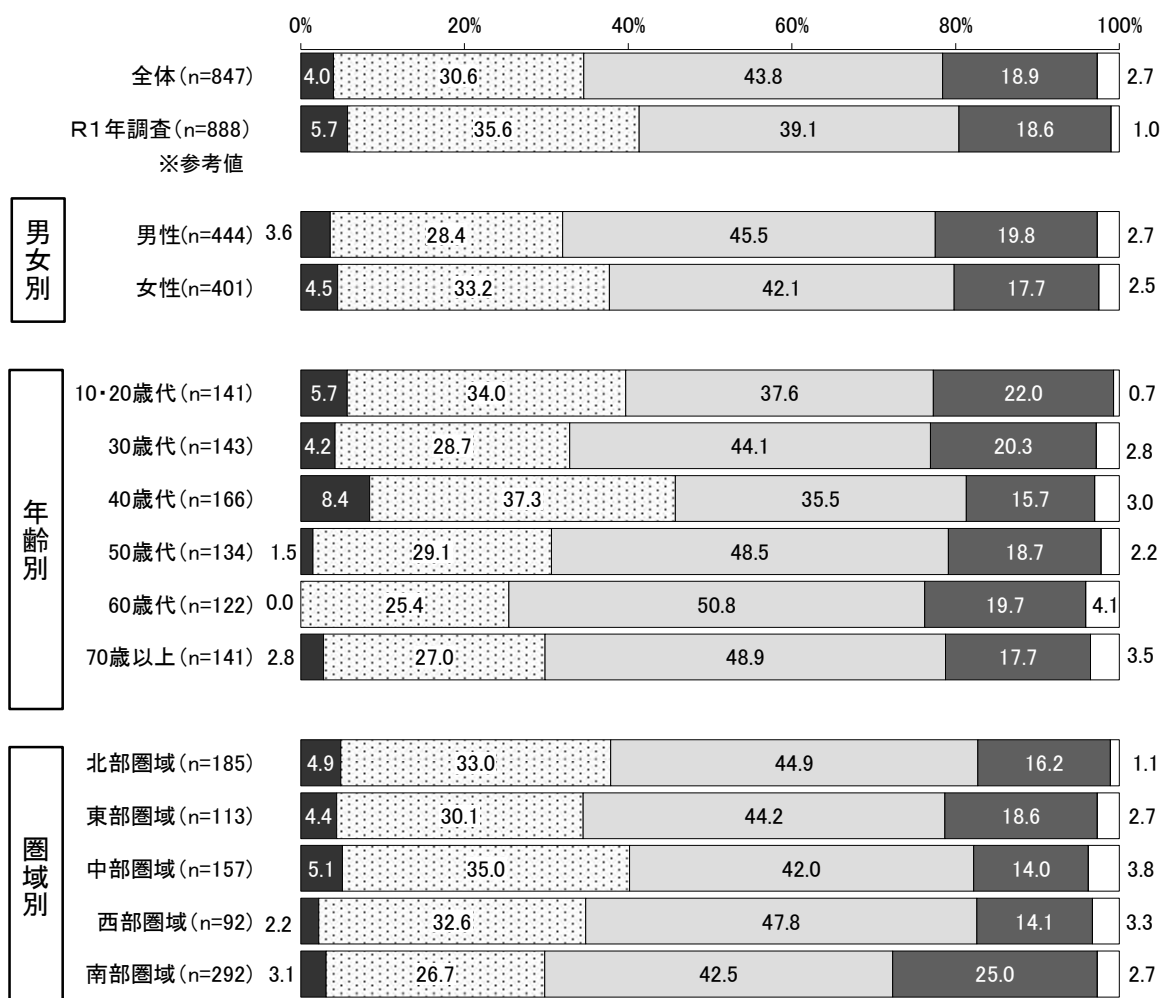
全体では『そう思う』が34.6%、『そう思わない』が62.7%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、女性の『そう思う』が37.7%と男性と比較して5.7ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が40歳代で45.7%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で70.5%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で40.1%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で67.5%と最も高くなっています。

※R1年調査の設問は「日常生活において、市役所の情報や観光情報などが入手しやすい環境にあると思いますか。」



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(8) ジェンダー平等の意識が浸透し、性別に関わりなく個人が活躍できる環境が整っている
 と思いますか。(単数回答)

『そう思う』 21.0% < 『そう思わない』 75.8%

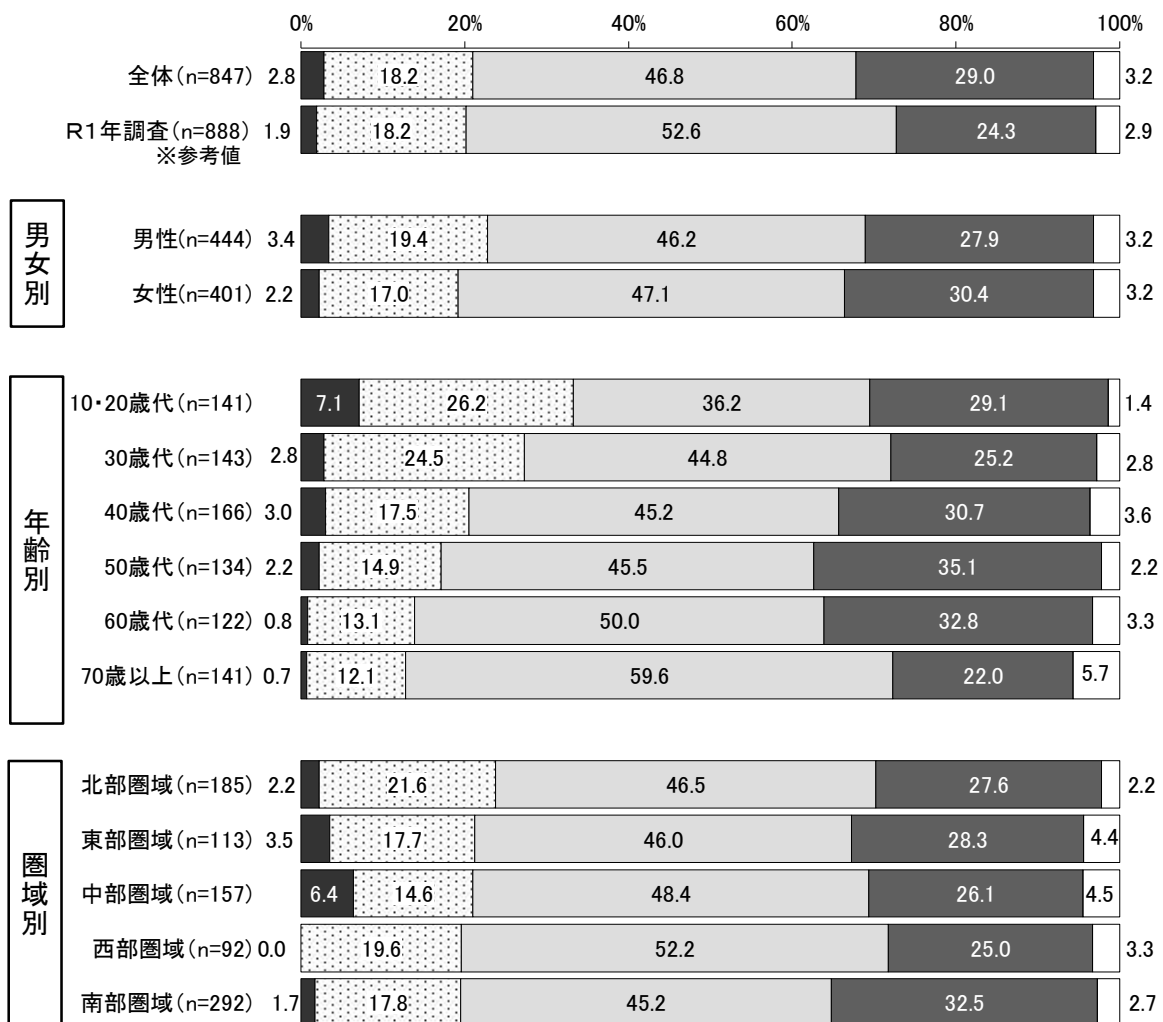
全体では『そう思う』が21.0%、『そう思わない』が75.8%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が22.8%と女性と比較して3.6ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で33.3%と最も高く、年代が高くなるにつれ『そう思う』の割合が低くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で23.8%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で77.7%と最も高くなっています。

※R1年調査の設問は「女性が活躍しやすい環境が整備されていると思いますか。」



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(9) あなたの生活においてワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活との調和)が実現できていると思いますか。(単数回答)

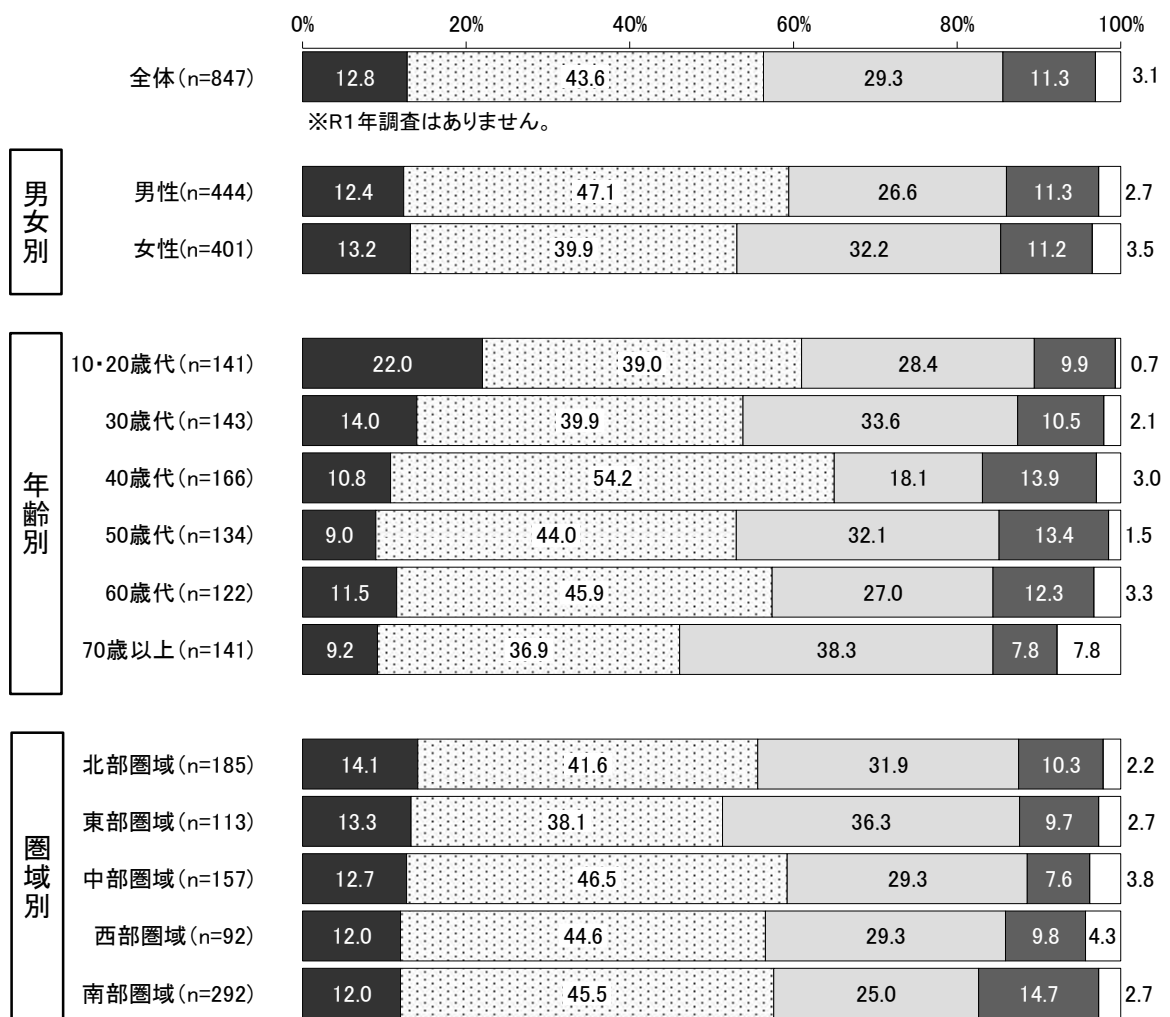
『そう思う』 56.4% > 『そう思わない』 40.6%

全体では『そう思う』が56.4%、『そう思わない』が40.6%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が59.5%と女性と比較して6.4ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、40歳代の『そう思う』が65.0%と最も高く、次いで10・20歳代が61.0%となっています。

圏域別にみると、中部圏域の『そう思う』が59.2%と最も高く、次いで南部圏域で57.5%となっています。



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

問5(10) 鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。(単数回答)

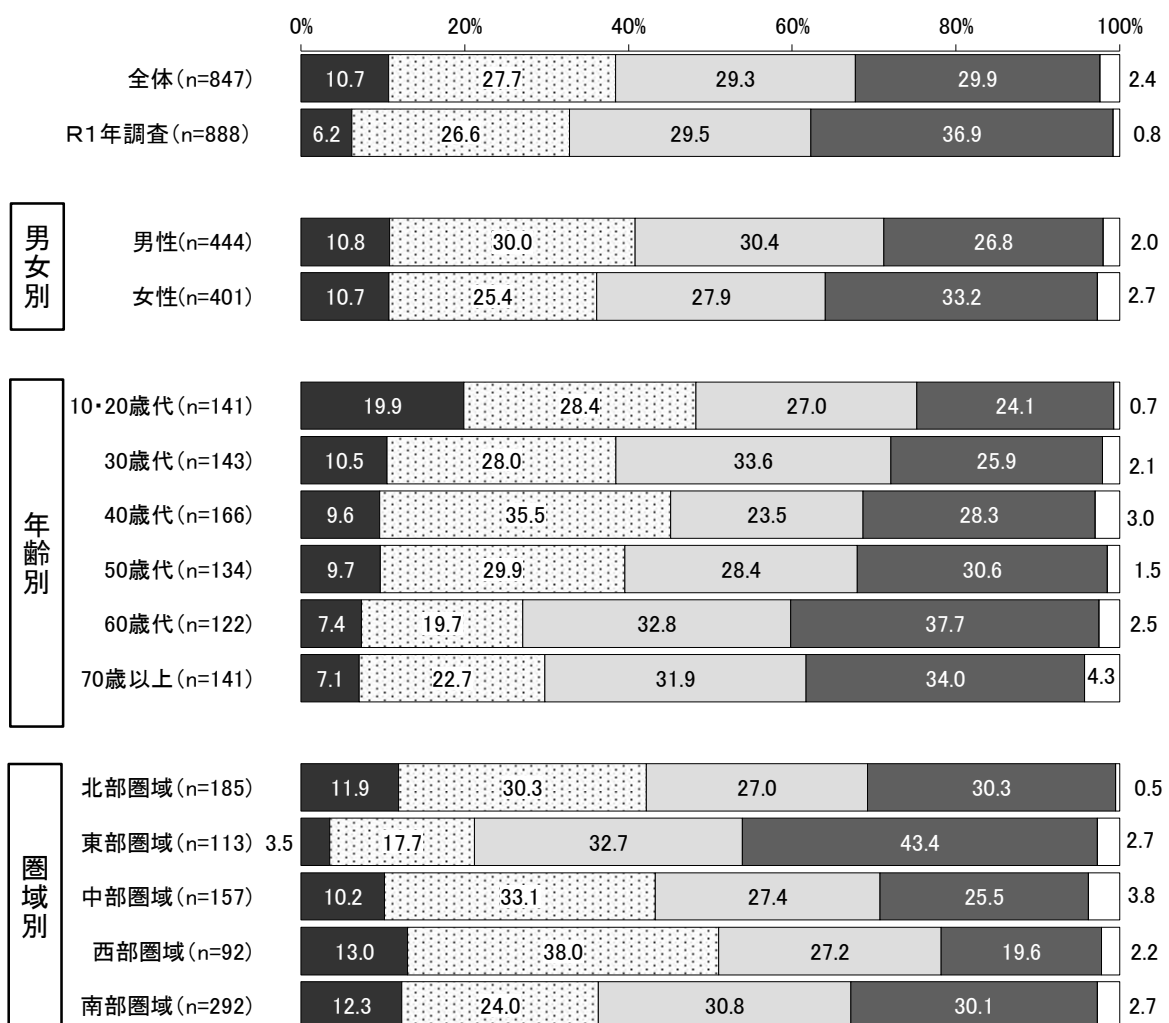
『そう思う』 38.4% < 『そう思わない』 59.2%

全体では『そう思う』が38.4%、『そう思わない』が59.2%となっています。R1年調査では、『そう思う』が32.8%となっており、今回調査が5.6ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。男性の『そう思う』が40.8%と女性と比較して4.7ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で48.3%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で70.5%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部圏域で51.0%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で76.1%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(11) 車で市内をスムーズに移動できるよう、道路の整備が進められていると思いますか。
(単数回答)

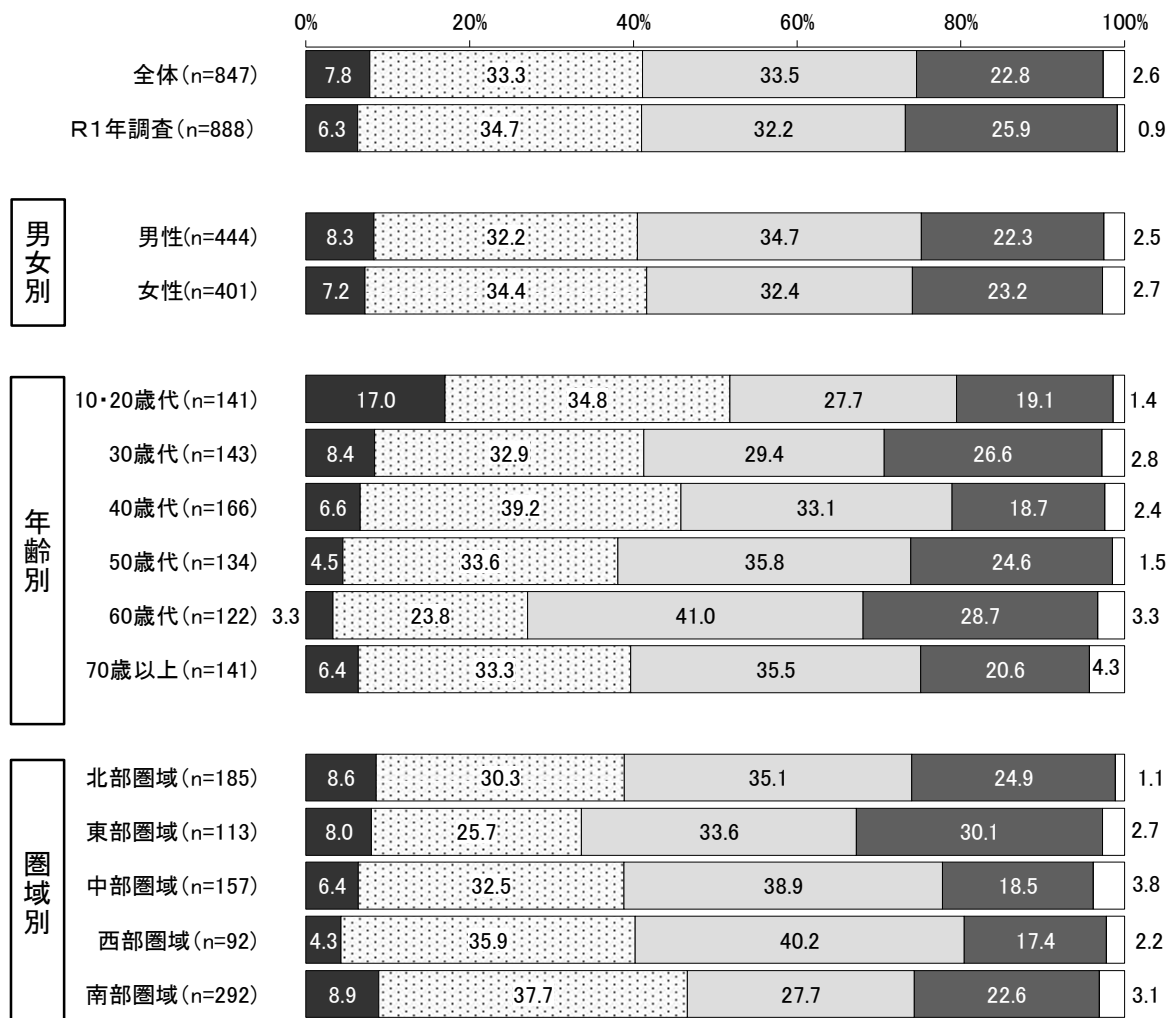
『そう思う』 41.1% < 『そう思わない』 56.3%

全体では『そう思う』が41.1%、『そう思わない』が56.3%となっています。R1年調査では、『そう思う』が41.0%となっており、今回調査が0.1ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で51.8%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で69.7%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が南部圏域で46.6%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で63.7%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(12) 住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。
(単数回答)

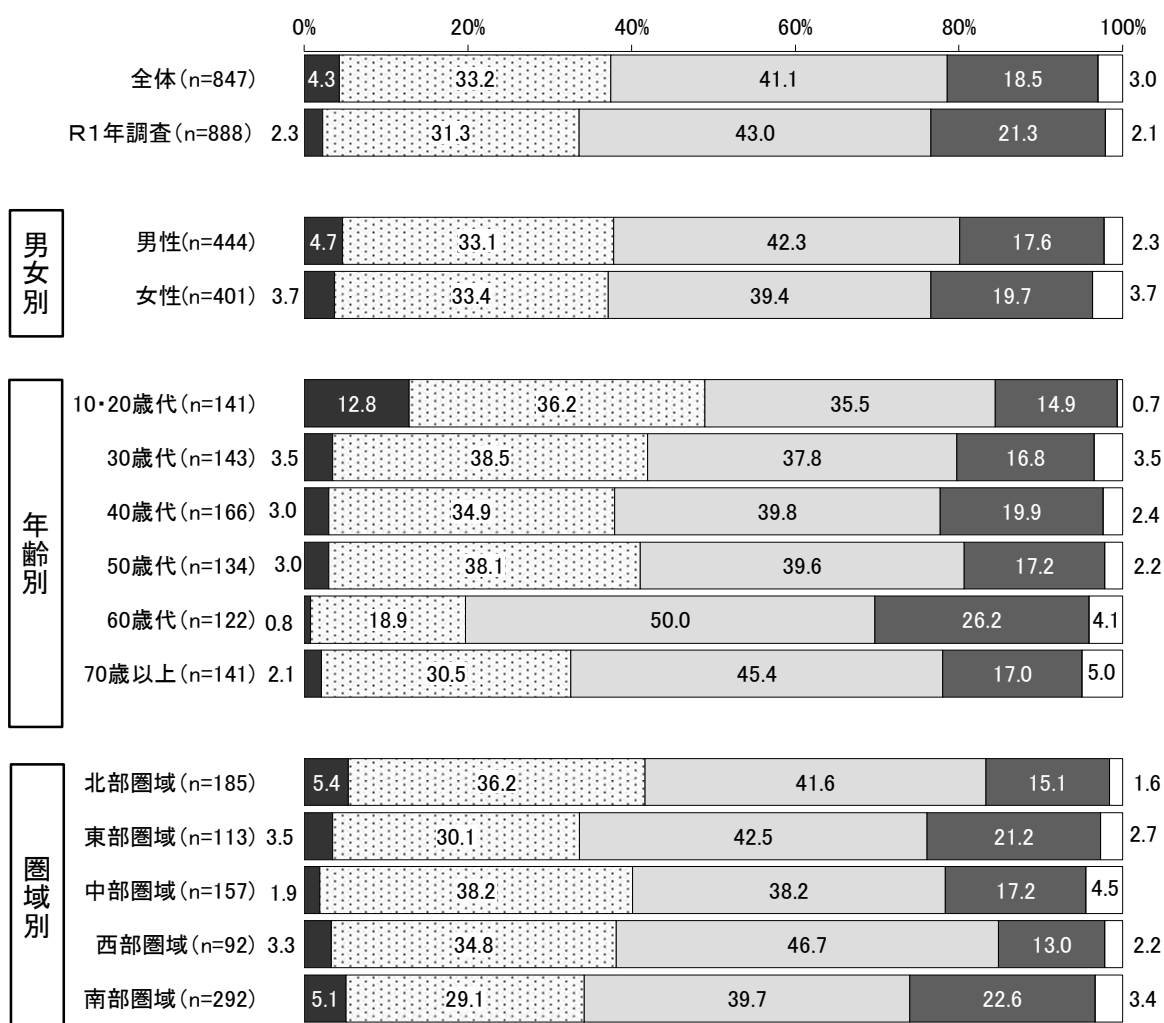
『そう思う』 37.5% < 『そう思わない』 59.6%

全体では『そう思う』が37.5%、『そう思わない』が59.6%となっています。R1年調査では、『そう思う』が33.6%となっており、今回調査が3.9ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で49.0%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で76.2%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で41.6%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で63.7%と最も高くなっています。



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

問5(13) 身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。(単数回答)

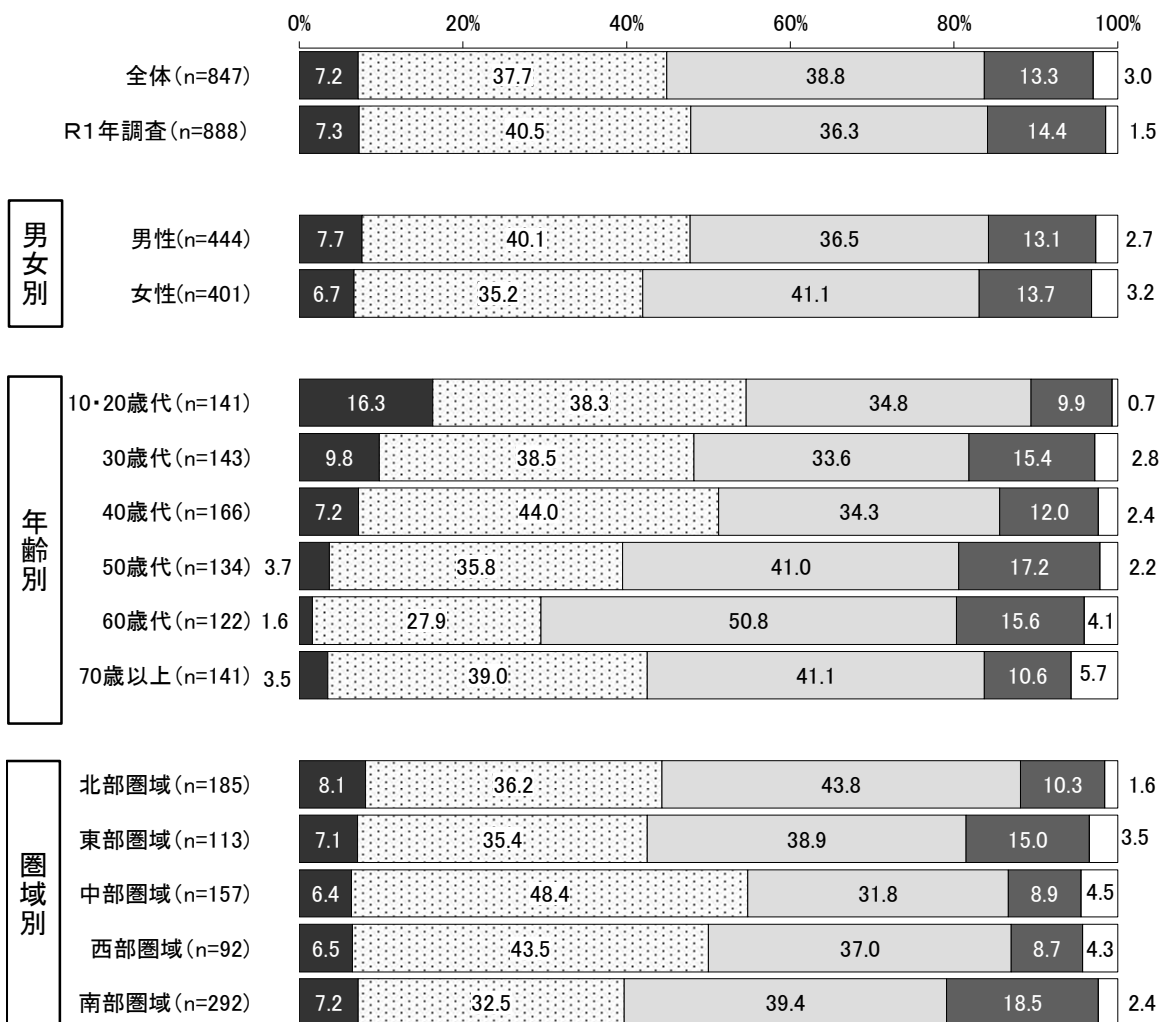
『そう思う』 44.9% < 『そう思わない』 52.1%

全体では『そう思う』が44.9%、『そう思わない』が52.1%となっています。R1年調査では、『そう思う』が47.8%となっており、今回調査が2.9ポイント低くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が47.8%と女性と比較して5.9ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で54.6%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で66.4%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で54.8%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で57.9%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(14) 子どもや若者、妊娠・子育て中の人困った時に気軽に相談できる環境が整っている
 と思いますか。(単数回答)

『そう思う』 35.3% < 『そう思わない』 60.9%

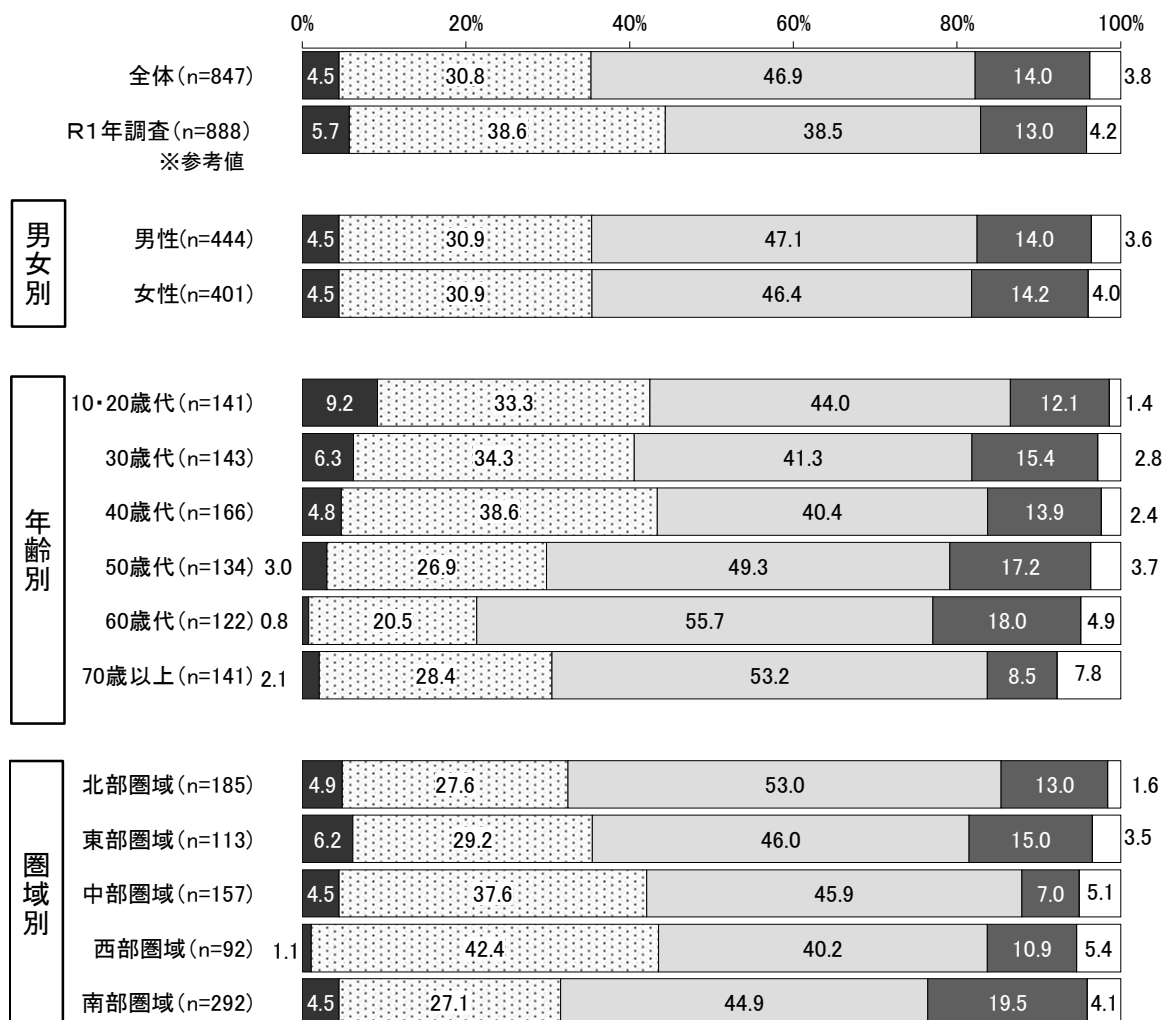
全体では『そう思う』が35.3%、『そう思わない』が60.9%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が40歳代で43.4%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で73.7%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部圏域で43.5%と最も高く、『そう思わない』が北部圏域で66.0%と最も高くなっています。

※R1年調査の設問は「妊娠期から出産期、子育て期まで、気軽に相談できる環境が整っている
 と思いますか。」



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(15) 豊かな感性や自ら学ぶ力がある子どもを育てるよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。(単数回答)

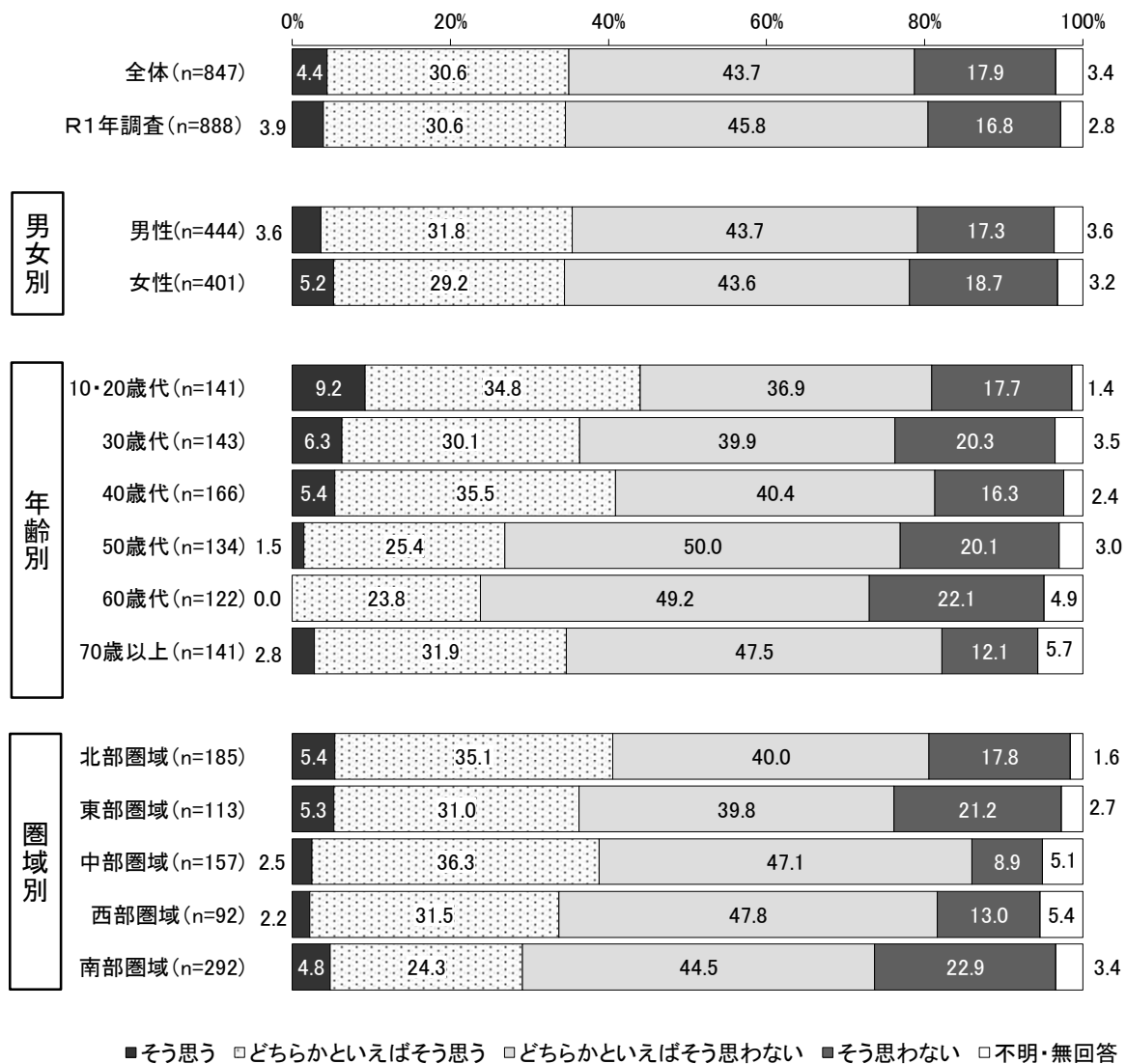
『そう思う』 35.0% < 『そう思わない』 61.6%

全体では『そう思う』が35.0%、『そう思わない』が61.6%となっています。R1年調査では、『そう思う』が34.5%となっており、今回調査が0.5ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で44.0%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で71.3%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で40.5%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で67.4%と最も高くなっています。



問5(16) 子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。(単数回答)

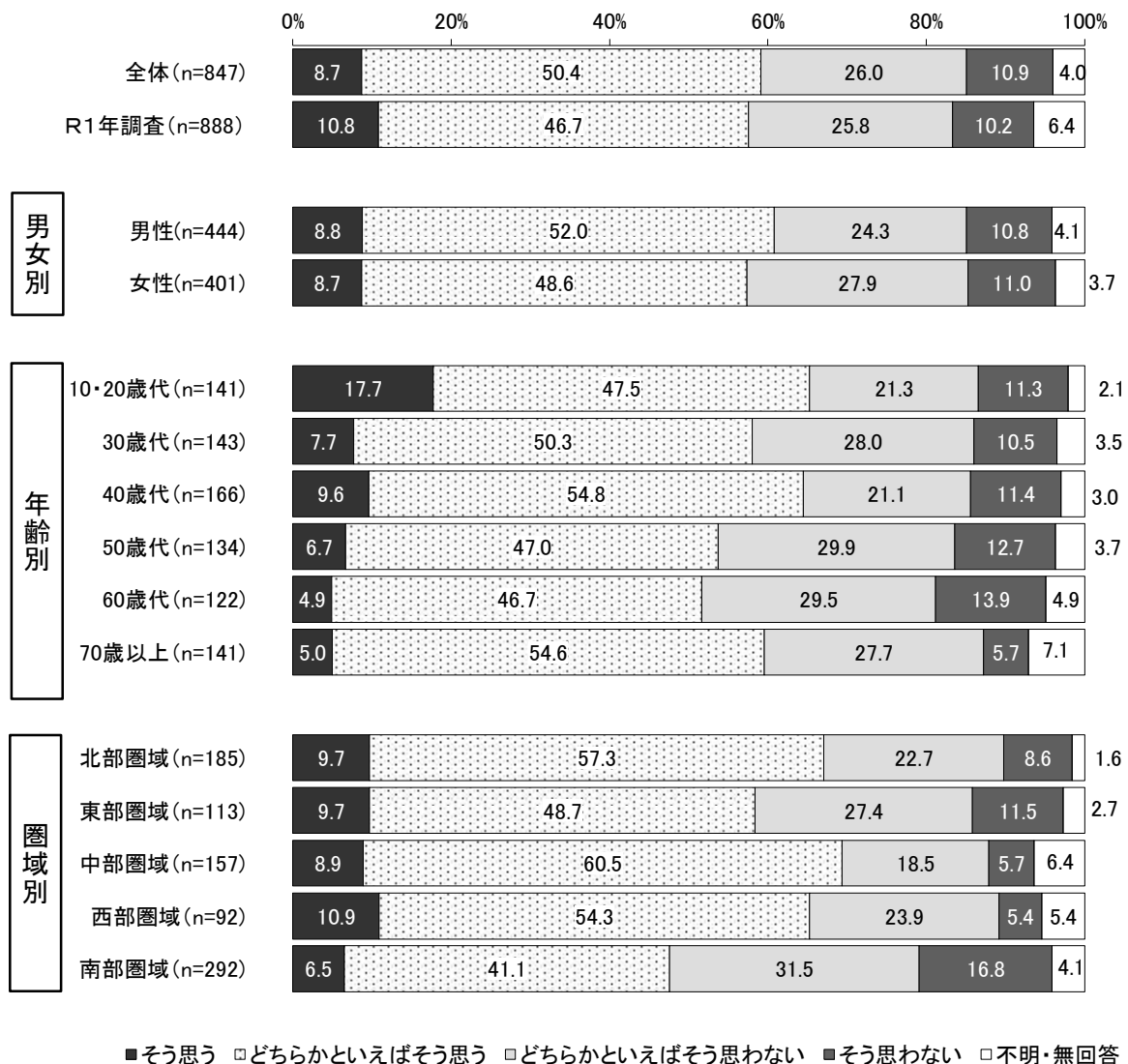
『そう思う』 59.1% > 『そう思わない』 36.9%

全体では『そう思う』が59.1%、『そう思わない』が36.9%となっています。R1年調査では、『そう思う』が57.5%となっており、今回調査が1.6ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が60.8%と女性と比較して3.5ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別みると、『そう思う』が10・20歳代で65.2%と最も高く、次いで40歳代で64.4%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で69.4%と最も高く、次いで北部圏域で67.0%となっています。



問5(17) 将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。(単数回答)

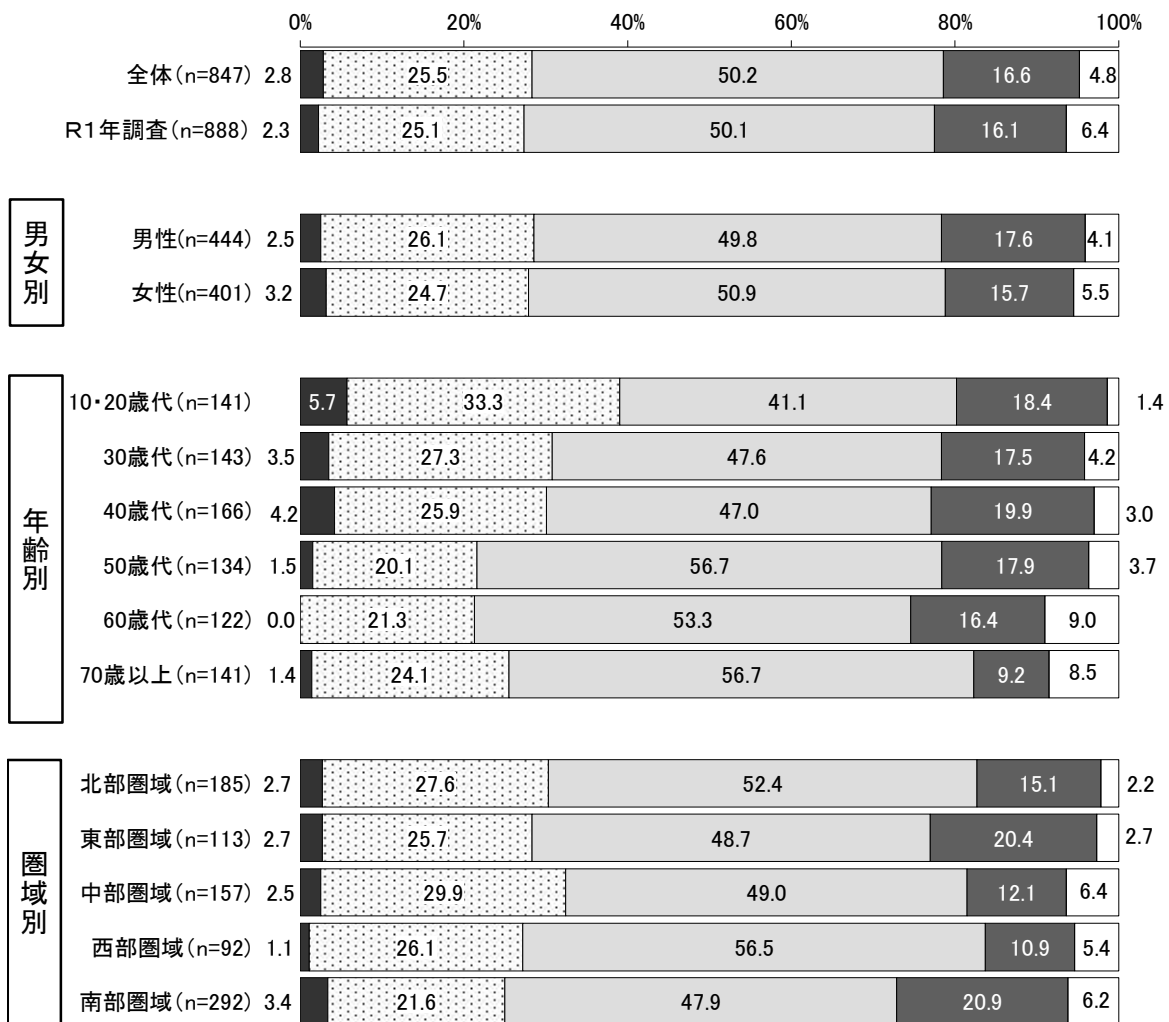
『**そう思う**』 28.3% < 『**そう思わない**』 66.8%

全体では『そう思う』が28.3%、『そう思わない』が66.8%となっています。R1年調査では、『そう思う』が27.4%となっており、今回調査が0.9ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別では、『そう思う』が10・20歳代で39.0%と最も高く、『そう思わない』が50歳代で74.6%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で32.4%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で68.8%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(18) 義務教育9年間を見通した小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながると
 思いますか。(単数回答)

『そう思う』 59.5% > 『そう思わない』 37.0%

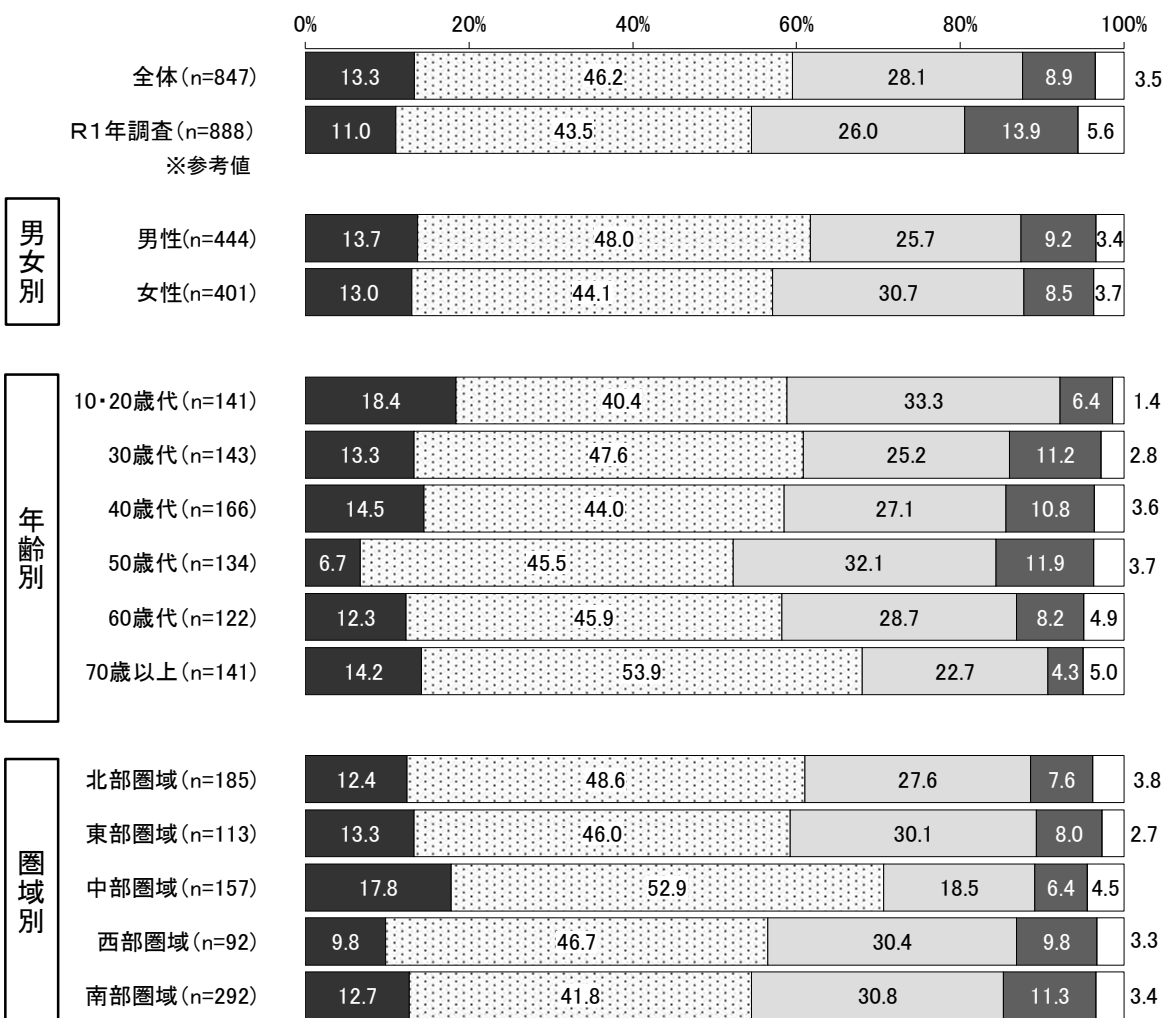
全体では『そう思う』が59.5%、『そう思わない』が37.0%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が61.7%と女性と比較して4.6ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が70歳以上で68.1%と最も高く、次いで30歳代で60.9%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で70.7%と最も高く、次いで北部圏域で61.0%となっています。

※R1年調査の設問は「瀬戸市全域で開始する小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながると
 思いますか。」



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(19) 住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。
(単数回答)

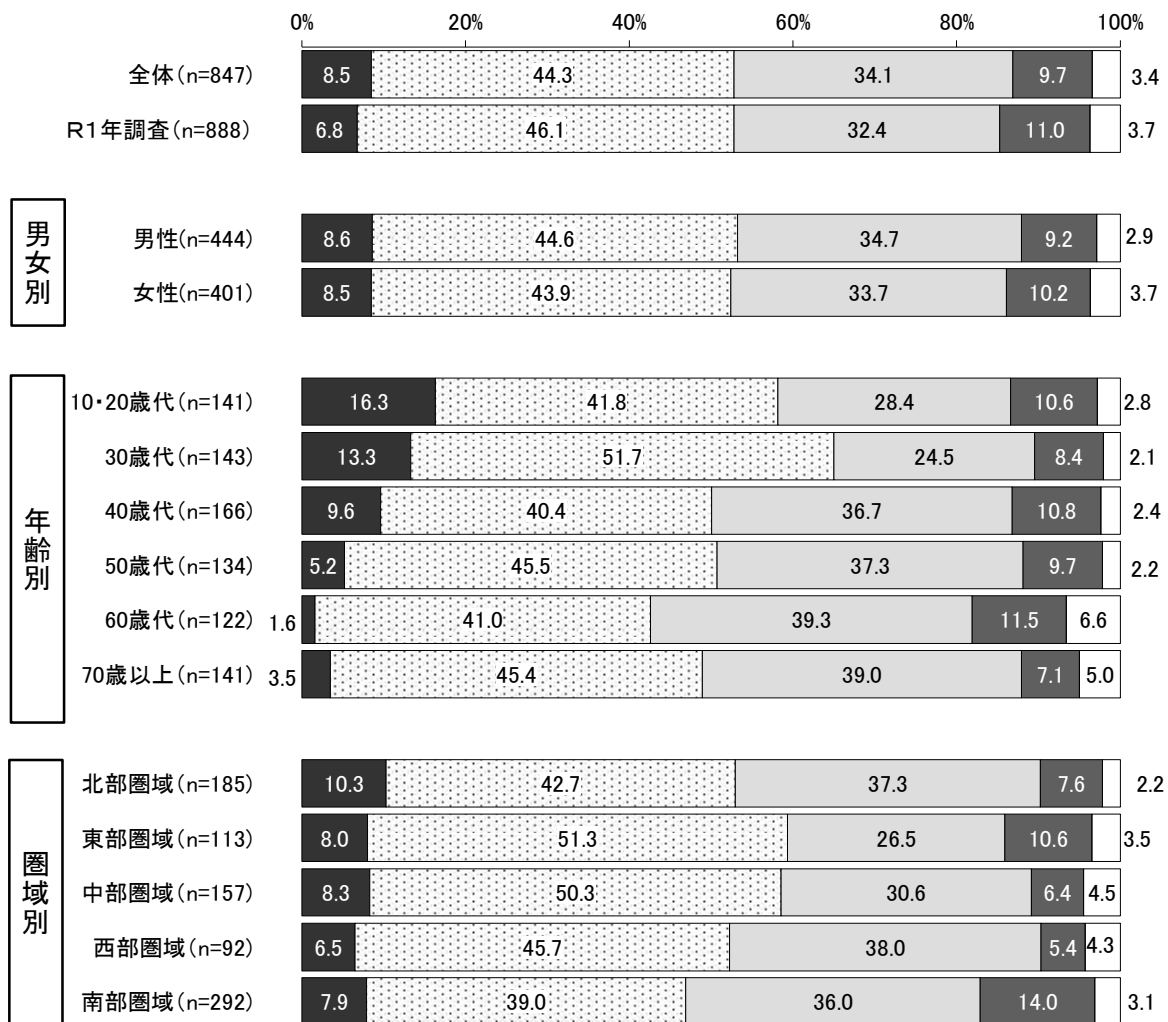
『そう思う』 52.8% > 『そう思わない』 43.8%

全体では『そう思う』が52.8%、『そう思わない』が43.8%となっています。R1年調査では、『そう思う』が52.9%となっており、今回調査が0.1ポイント低くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が30歳代で65.0%と最も高く、次いで10・20歳代で58.1%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が東部圏域で59.3%と最も高く、次いで中部圏域で58.6%となっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(20) 外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができる環境が整っていると思いますか。
(単数回答)

『そう思う』 32.8% < 『そう思わない』 62.8%

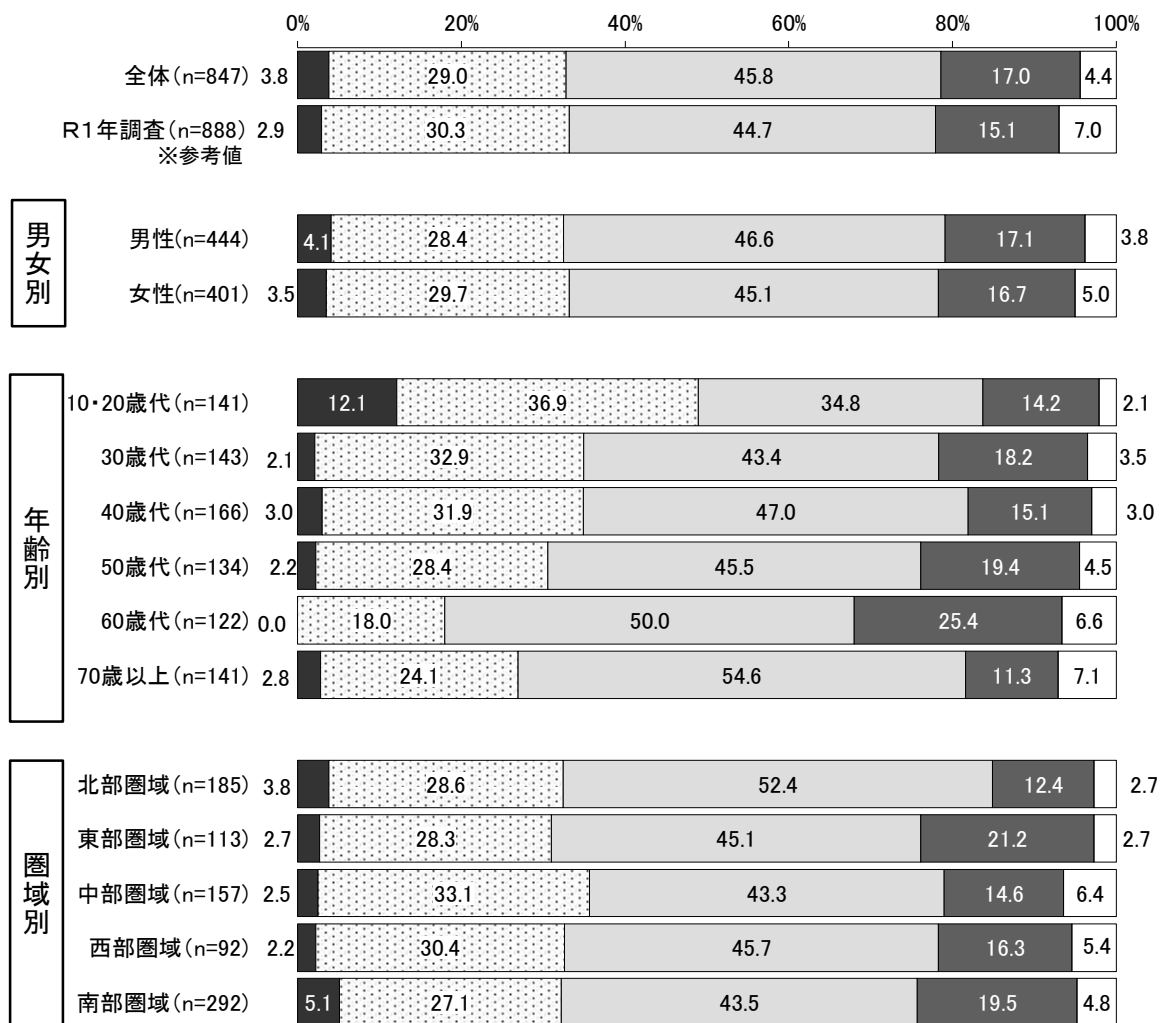
全体では『そう思う』が32.8%、『そう思わない』が62.8%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で49.0%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で75.4%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で35.6%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で66.3%と最も高くなっています。

※R1年調査の設問は「外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができていると思いますか。」



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

問5(21) 自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。(単数回答)

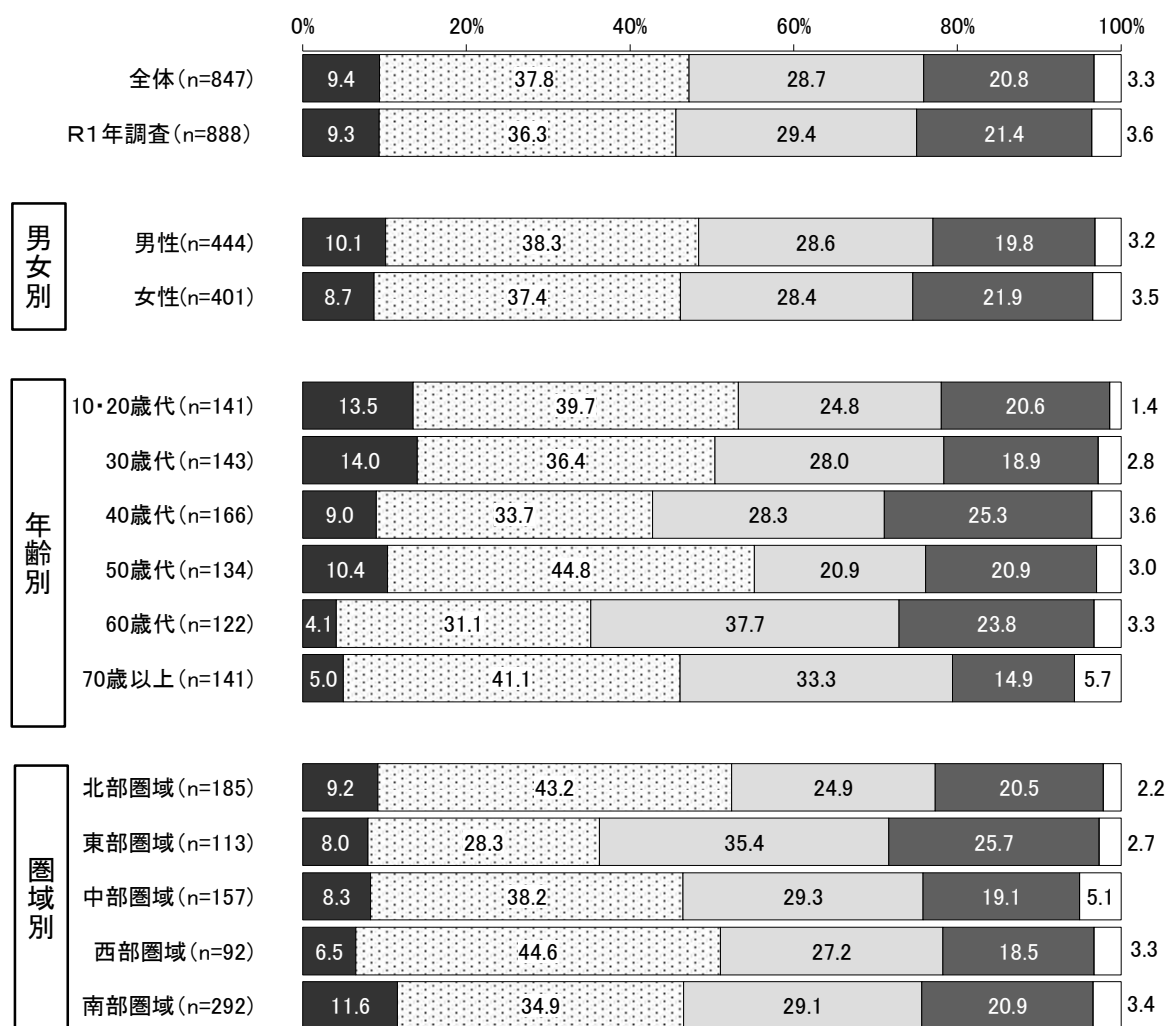
『そう思う』 47.2% < 『そう思わない』 49.5%

全体では『そう思う』が47.2%、『そう思わない』が49.5%となっています。R1年調査では、『そう思う』が45.6%となっており、今回調査が1.6ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が50歳代で55.2%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で61.5%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で52.4%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で61.1%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(22) 誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道の整備が進められていると思いますか。(単数回答)

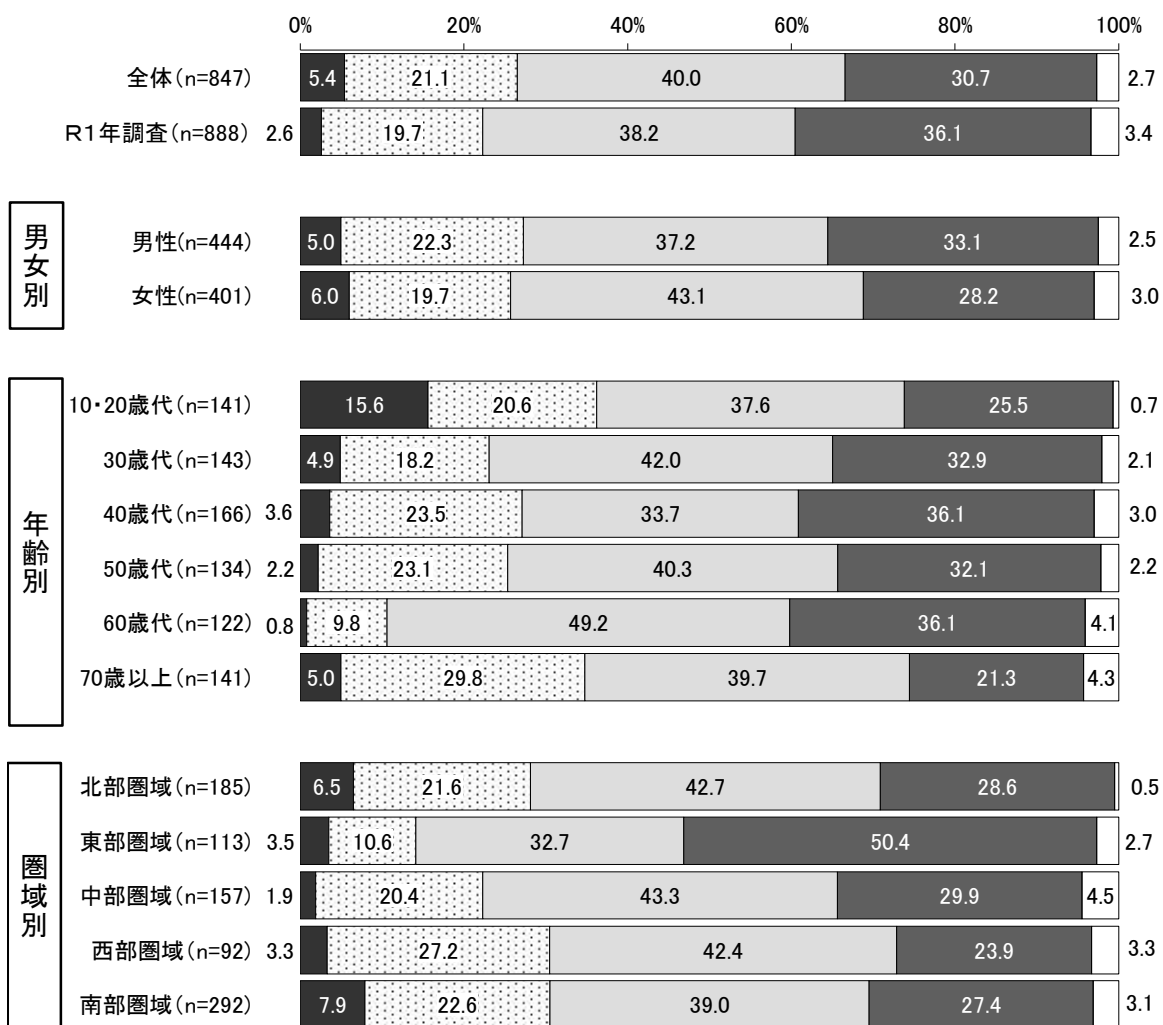
『そう思う』 26.5% < 『そう思わない』 70.7%

全体では『そう思う』が26.5%、『そう思わない』が70.7%となっています。R1年調査では、『そう思う』が22.3%となっており、今回調査が4.2ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で36.2%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で85.3%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部、南部圏域で30.5%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で83.1%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(23) やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどを持ち、健康で生きがいのある暮らしをしている
 と思いますか。(単数回答)

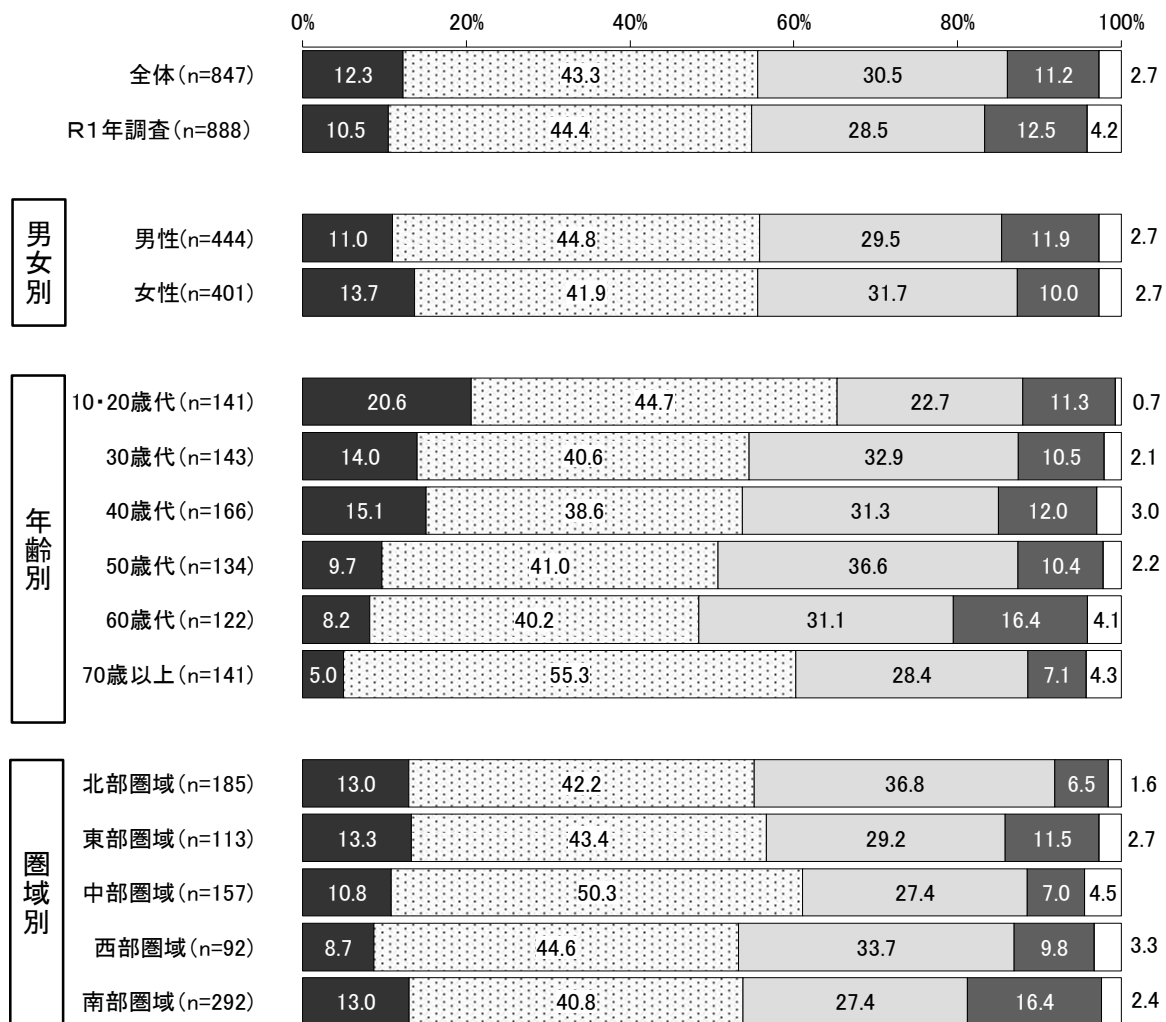
『そう思う』 55.6% > 『そう思わない』 41.7%

全体では『そう思う』が55.6%、『そう思わない』が41.7%となっています。R1年調査では、『そう思う』が54.9%となっており、今回調査が0.7ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で65.3%と最も高く、次いで70歳以上が60.3%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で61.1%と最も高く、次いで東部圏域で56.7%となっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(24) 高齢者が地域の中で、生きがいを持って安心して暮らしていくことができる環境が整っていると思いますか。(単数回答)

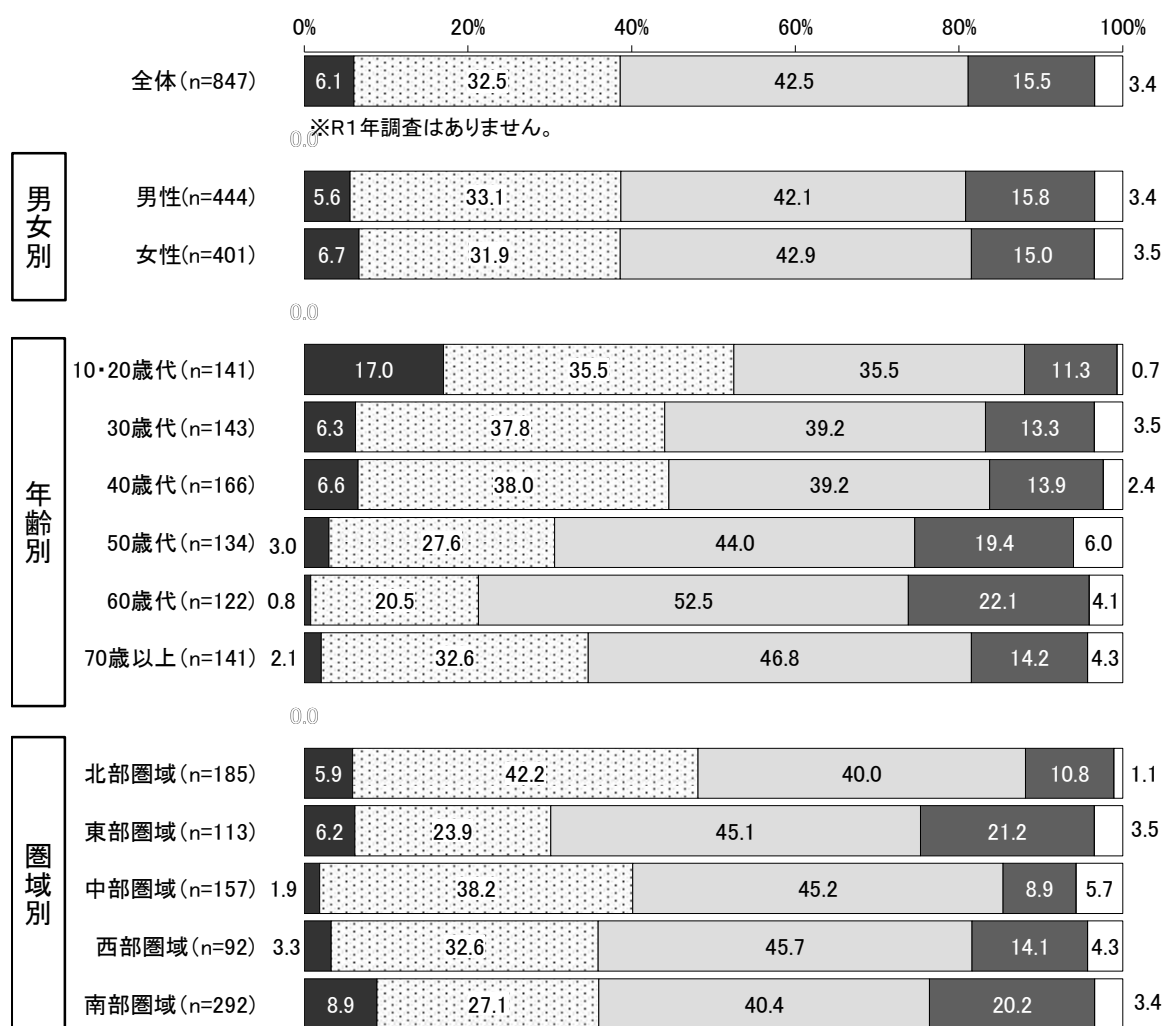
『そう思う』 38.6% < 『そう思わない』 58.0%

全体では『そう思う』が38.6%、『そう思わない』が58.0%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で52.5%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で74.6%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で48.1%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で66.3%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(25) 病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思えますか。(単数回答)

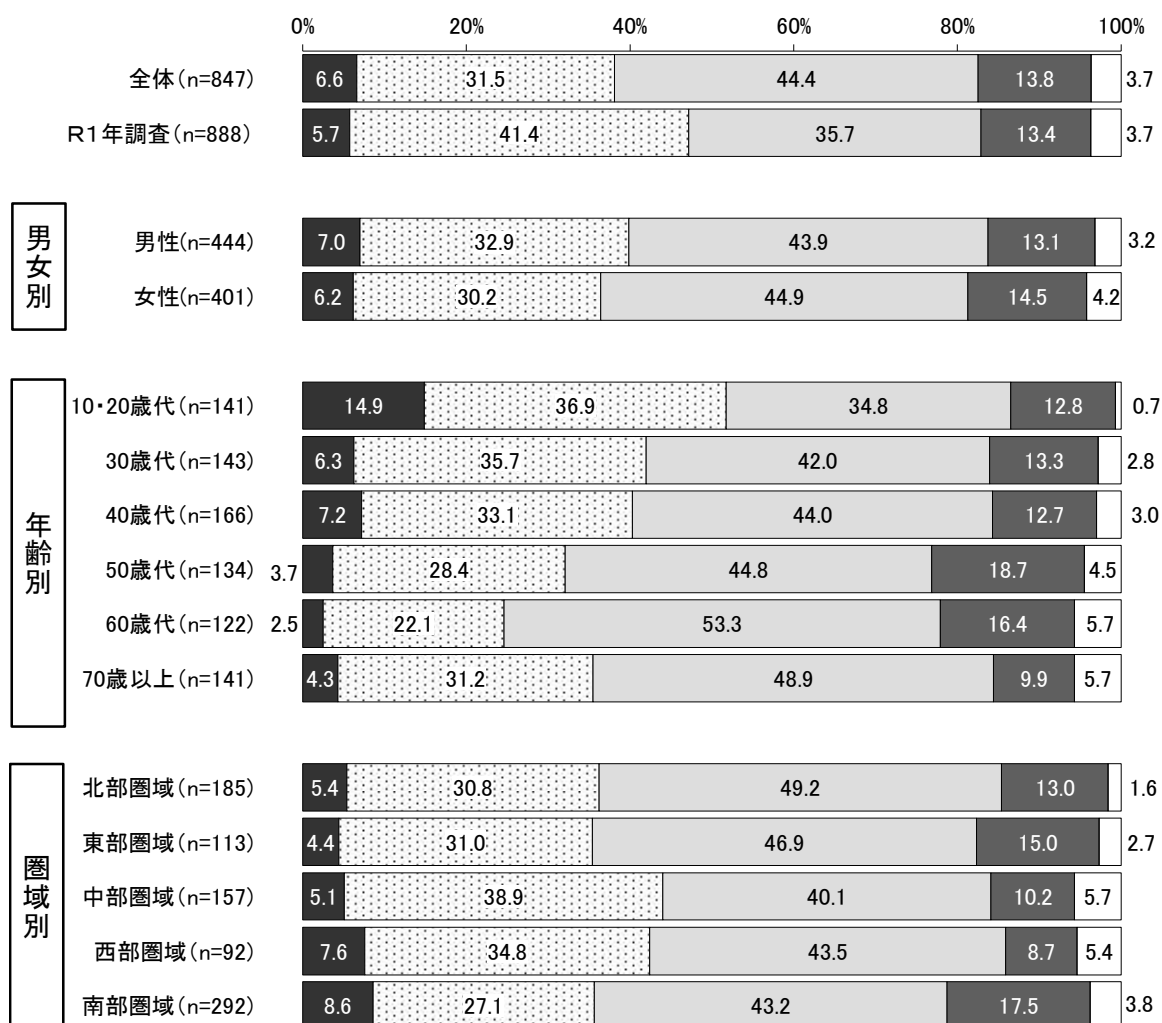
『そう思う』 38.1% < 『そう思わない』 58.2%

全体では『そう思う』が38.1%、『そう思わない』が58.2%となっています。R1年調査では、『そう思う』が47.1%となっており、今回調査が9.0ポイント低くなっています。

男女別にみると、男性の『そう思う』が39.9%と女性と比較して3.5ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で51.8%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で69.7%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で44.0%と最も高く、『そう思わない』が北部圏域で62.2%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(26) 市の計画やまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。(単数回答)

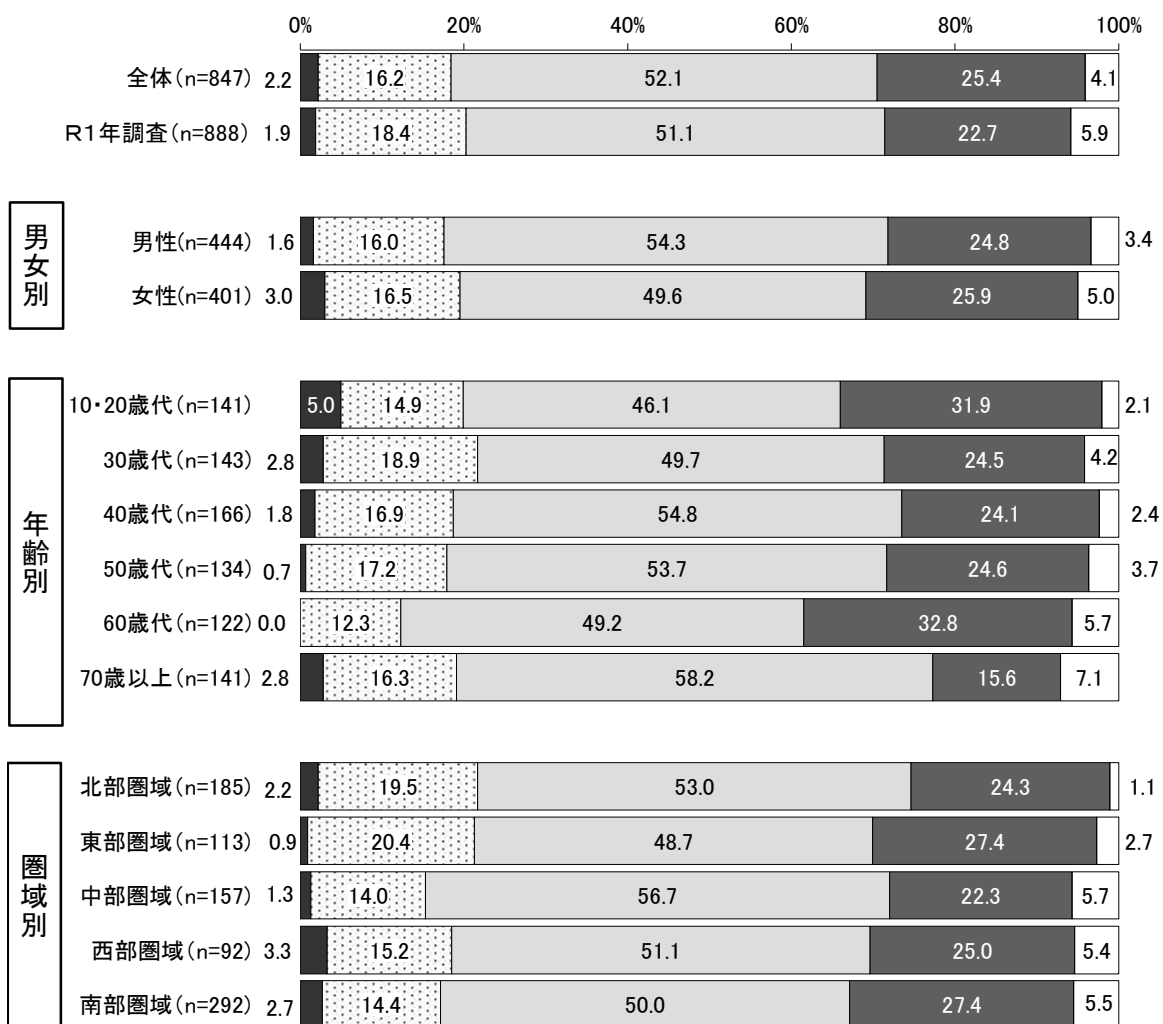
『そう思う』 18.4% < 『そう思わない』 77.5%

全体では『そう思う』が18.4%、『そう思わない』が77.5%となっています。R1年調査では、『そう思う』が20.3%となっており、今回調査が1.9ポイント低くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が30歳代で21.7%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で82.0%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で21.7%と最も高く、『そう思わない』が中部圏域で79.0%と最も高くなっています



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(27) 自治会やNPO等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていけると思いませんか。(単数回答)

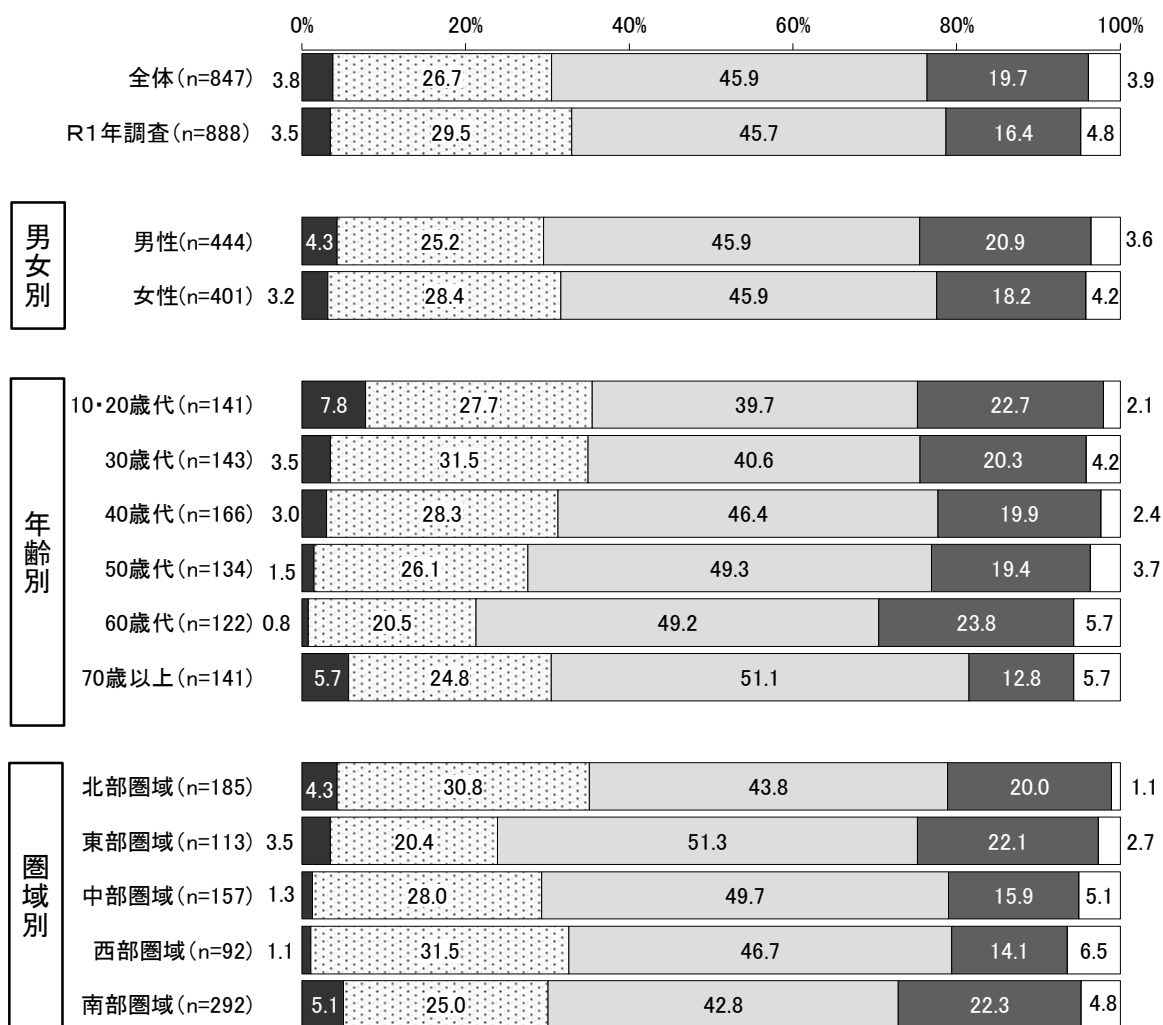
『そう思う』30.5% < 『そう思わない』65.6%

全体では『そう思う』が30.5%、『そう思わない』が65.6%となっています。R1年調査では、『そう思う』が33.0%となっており、今回調査が2.5ポイント低くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で35.5%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で73.0%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で35.1%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で73.4%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(28) 土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。(単数回答)

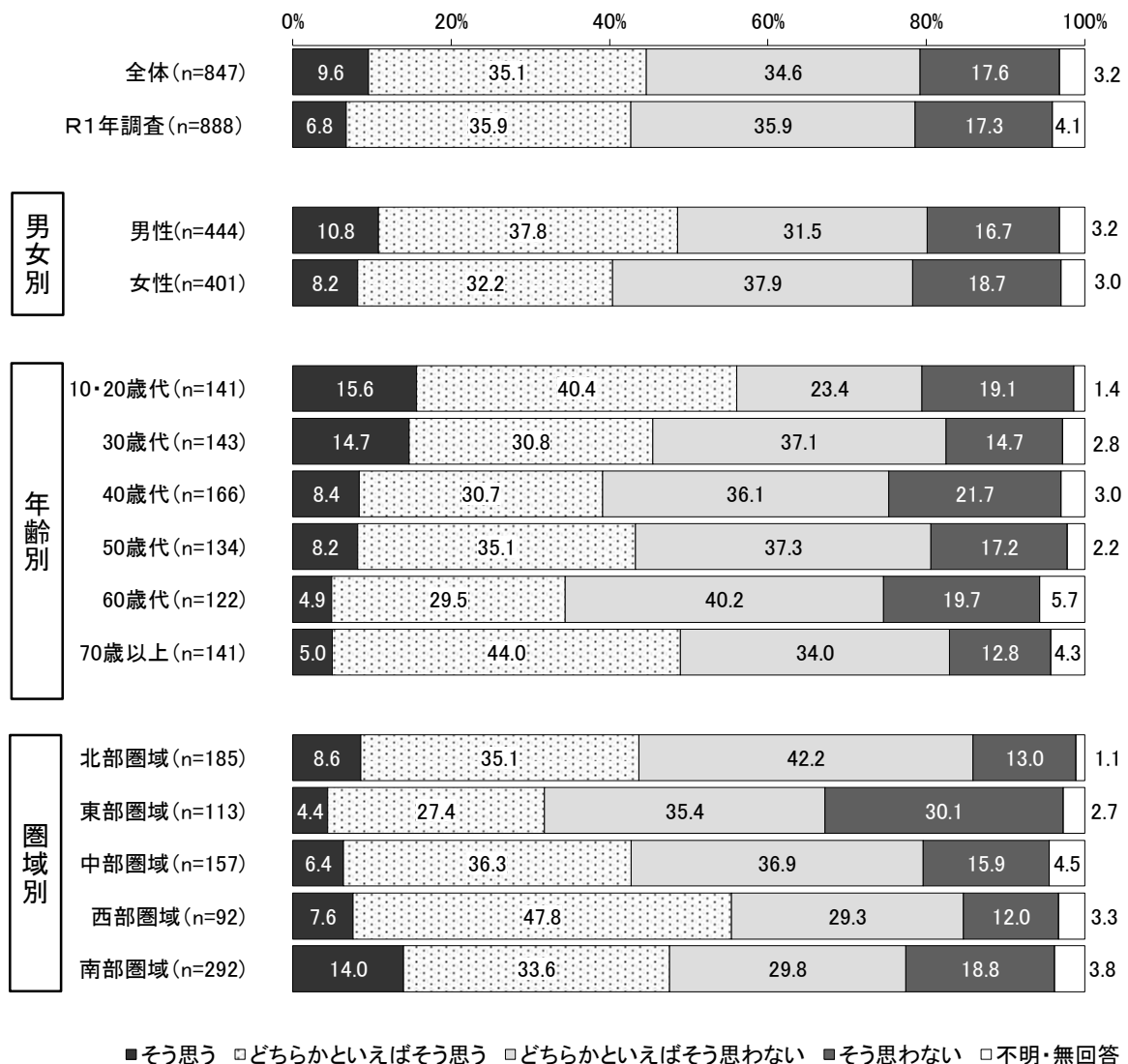
『そう思う』 44.7% < 『そう思わない』 52.2%

全体では『そう思う』が44.7%、『そう思わない』が52.2%となっています。R1年調査では、『そう思う』が42.7%となっており、今回調査が2.0ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられませんが、男性の『そう思う』が48.6%と女性と比較して8.2ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で56.0%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で59.9%と最も高くなっています。

圏域別にみると、西部圏域の『そう思う』が55.4%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で65.5%と最も高くなっています。



問5(29) 日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていますか。(単数回答)

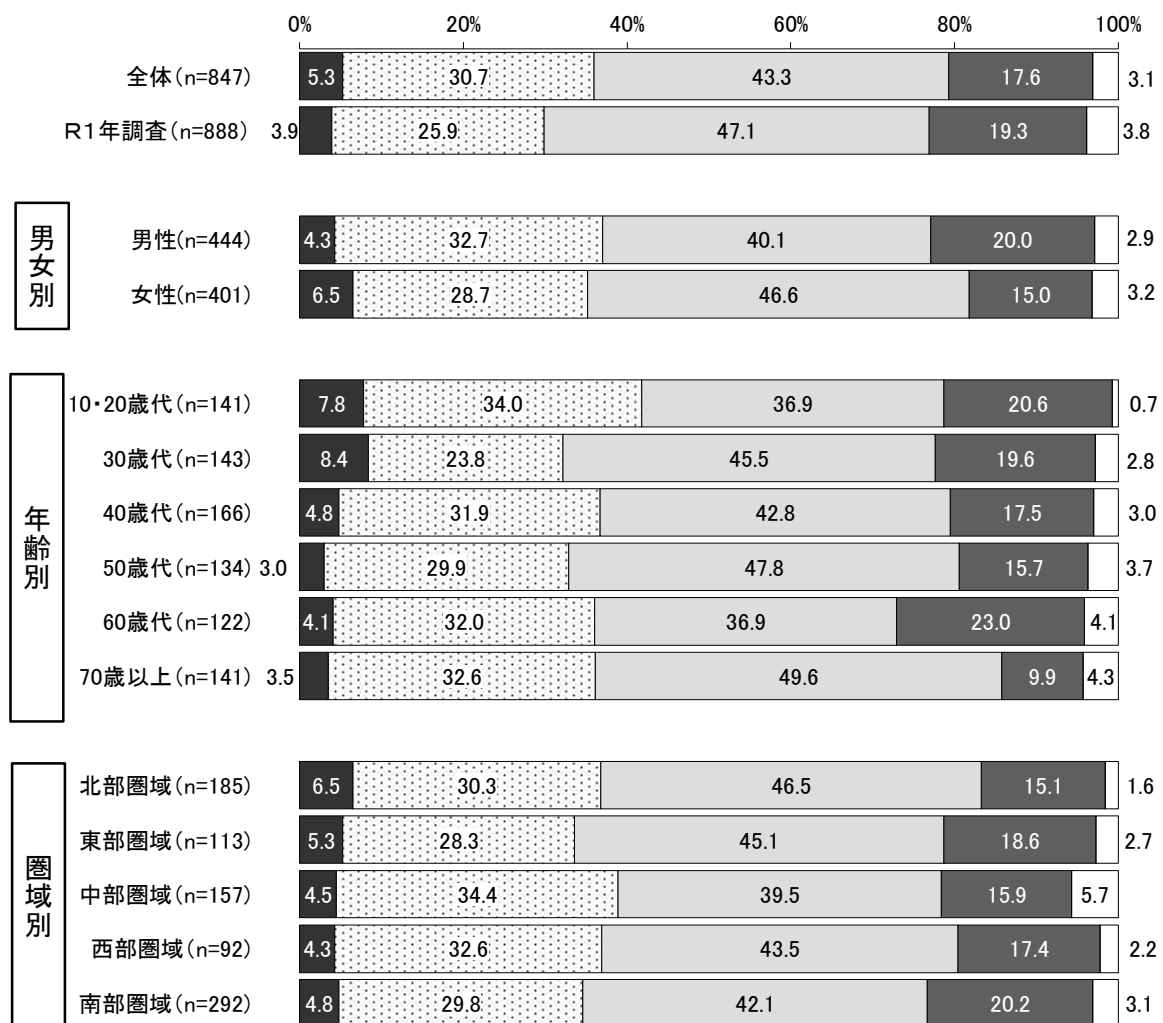
『そう思う』 36.0% < 『そう思わない』 60.9%

全体では『そう思う』が36.0%、『そう思わない』が60.9%となっています。R1年調査では、『そう思う』が29.8%となっており、今回調査が6.2ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で41.8%と最も高く、『そう思わない』が30歳代で65.1%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で38.9%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で63.7%と最も高くなっています。



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

問5(30) 省エネ行動や太陽光発電設備の導入など、家庭で地球温暖化対策に取り組むにあたり、必要な情報提供や支援が行われていると思いますか。(単数回答)

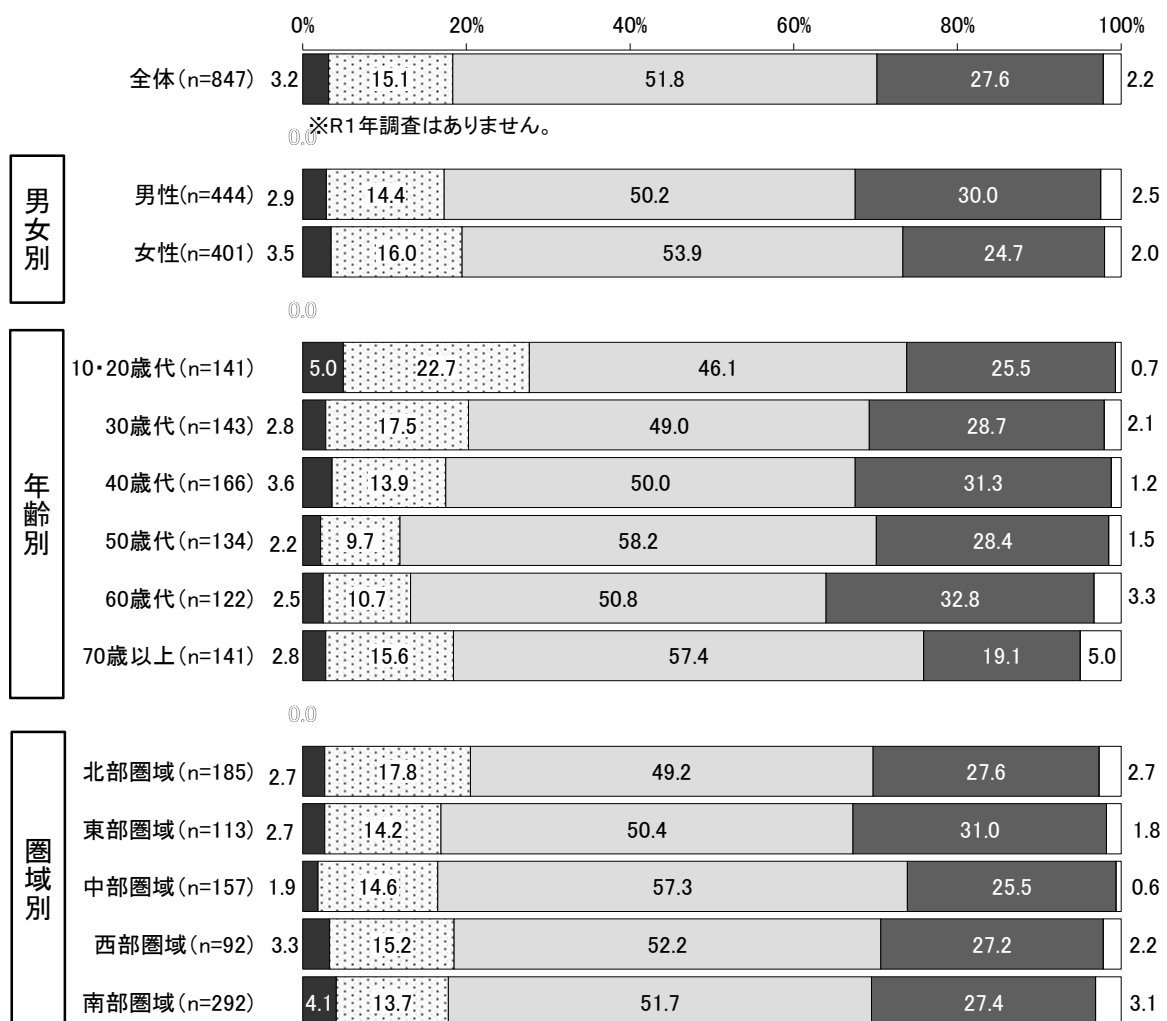
『そう思う』 18.3% < 『そう思わない』 79.4%

全体では『そう思う』が18.3%、『そう思わない』が79.4%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で27.7%と最も高く、『そう思わない』が50歳代で86.6%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が北部圏域で20.5%と最も高く、『そう思わない』が中部圏域で82.8%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(31) 市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。(単数回答)

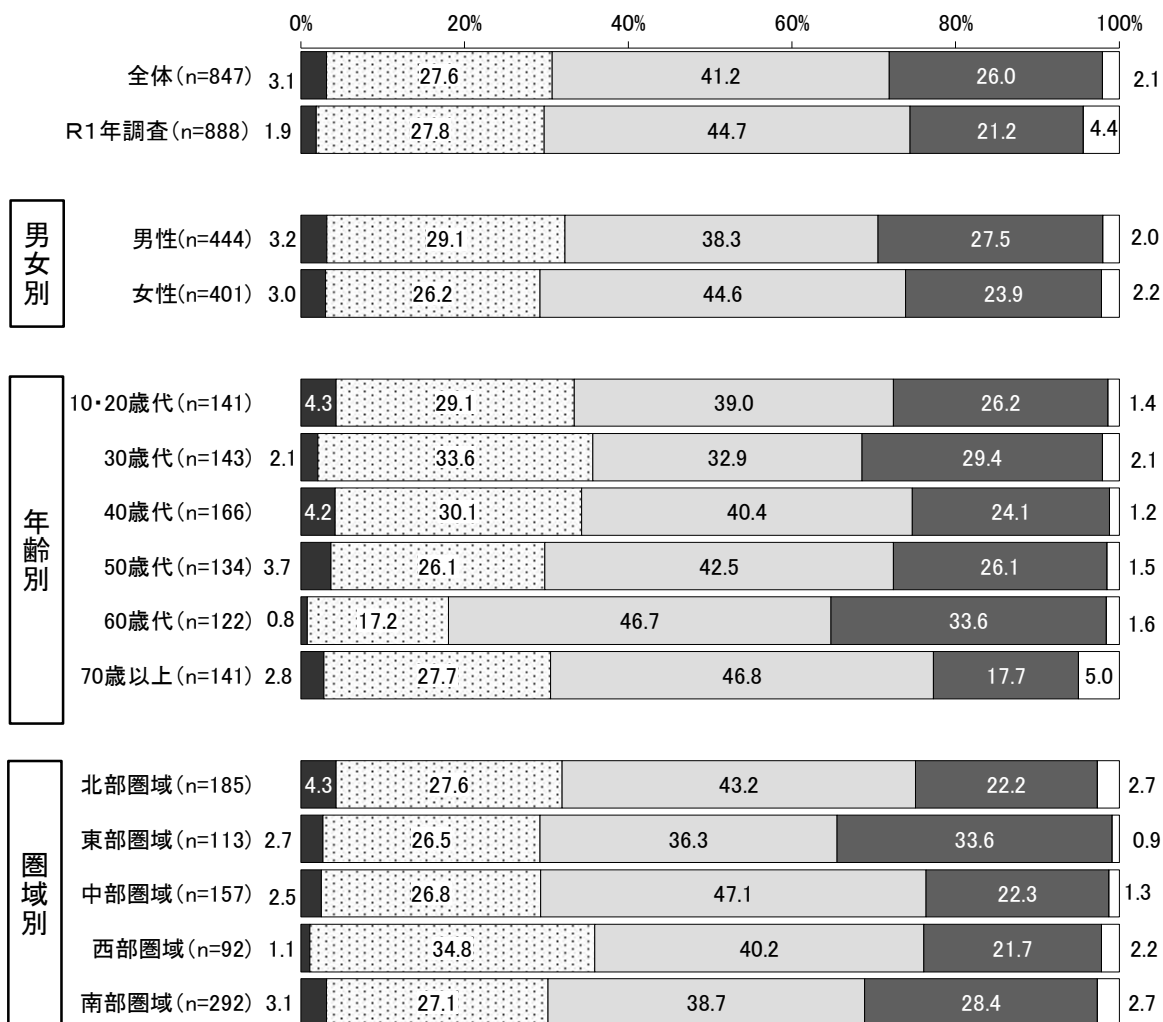
『そう思う』 30.7% < 『そう思わない』 67.2%

全体では『そう思う』が30.7%、『そう思わない』が67.2%となっています。R1年調査では、『そう思う』が29.7%となっており、今回調査が1.0ポイント高くなっています。

男女別にみると、男性の『そう思う』が32.3%と女性と比較して3.1ポイントとわずかに高くなっています。

年齢別にみると、『そう思う』が30歳代で35.7%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で80.3%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部圏域で35.9%と最も高く、『そう思わない』が東部圏域で69.9%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(32) 市役所の窓口業務などにおいて、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。(単数回答)

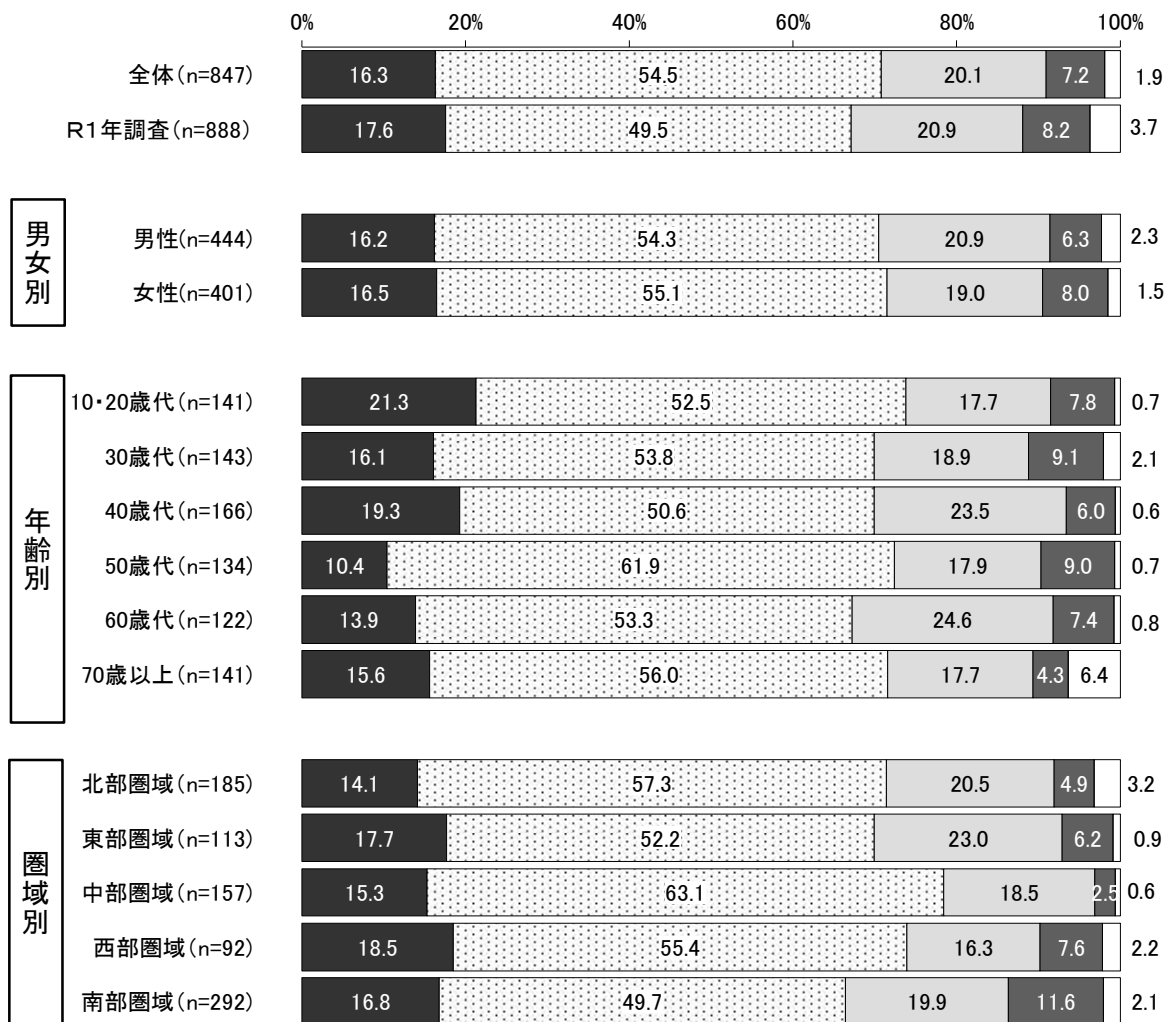
『そう思う』70.8% > 『そう思わない』27.3%

全体では『そう思う』が70.8%、『そう思わない』が27.3%となっています。R1年調査では、『そう思う』が67.1%となっており、今回調査が3.7ポイント高くなっています。

男女別にみると、特に大きな差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で73.8%と最も高く、次いで50歳代で72.3%となっています。

圏域別にみると、『そう思う』が中部圏域で78.4%と最も高く、次いで西部圏域で73.9%となっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(33) 瀬戸市の財政運営は適切に行われていると思いますか。(単数回答)

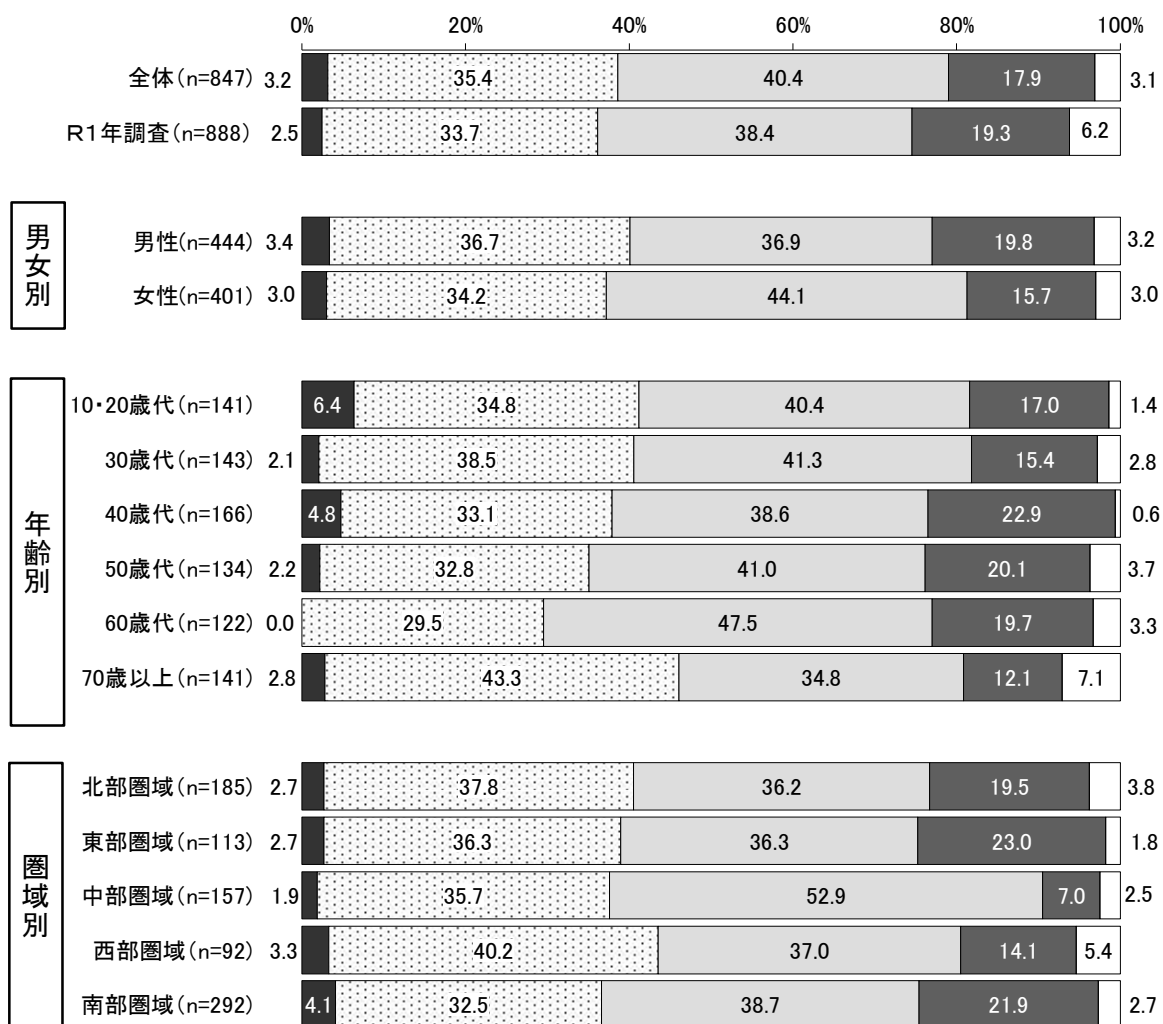
『そう思う』 38.6% < 『そう思わない』 58.3%

全体では『そう思う』が38.6%、『そう思わない』が58.3%となっています。R1年調査では、『そう思う』が36.2%となっており、今回調査が2.4ポイント高くなっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が70歳以上で46.1%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で67.2%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が西部圏域の43.5%と最も高く、『そう思わない』が南部圏域で60.6%と最も高くなっています。



■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

問5(34) スマートフォン等の決済アプリを利用した市税の納付や電子図書館など、デジタル技術の活用によって瀬戸市の行政サービスが向上したと思いますか。(単数回答)

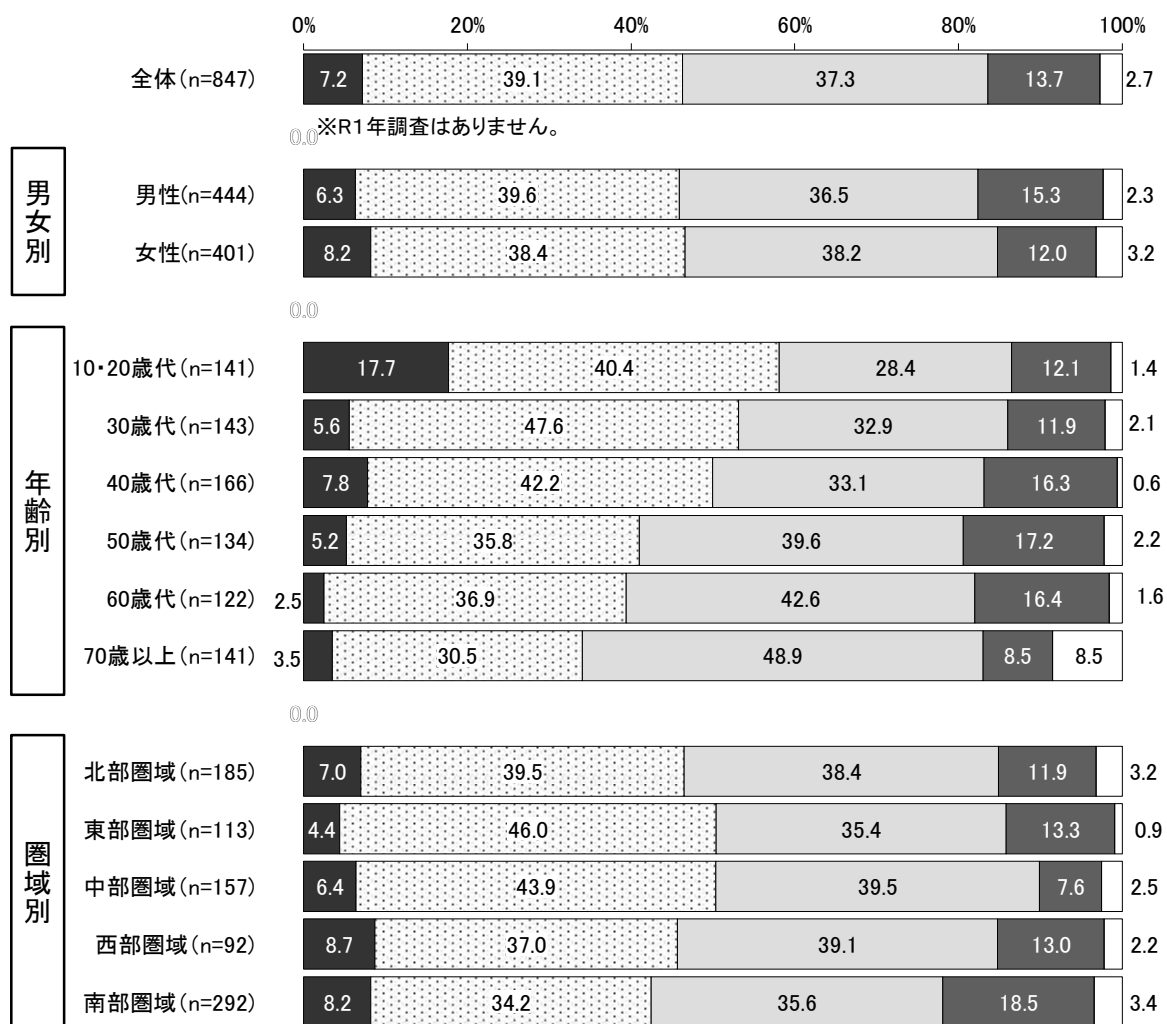
『そう思う』 46.3% < 『そう思わない』 51.0%

全体では『そう思う』が46.3%、『そう思わない』が51.0%となっています。

男女別にみると、10ポイントを超える差はみられません。

年齢別にみると、『そう思う』が10・20歳代で58.1%と最も高く、『そう思わない』が60歳代で59.0%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『そう思う』が東部圏域で50.4%、次いで中部圏域で50.3%と高く、『そう思わない』が南部圏域で54.1%と最も高くなっています。



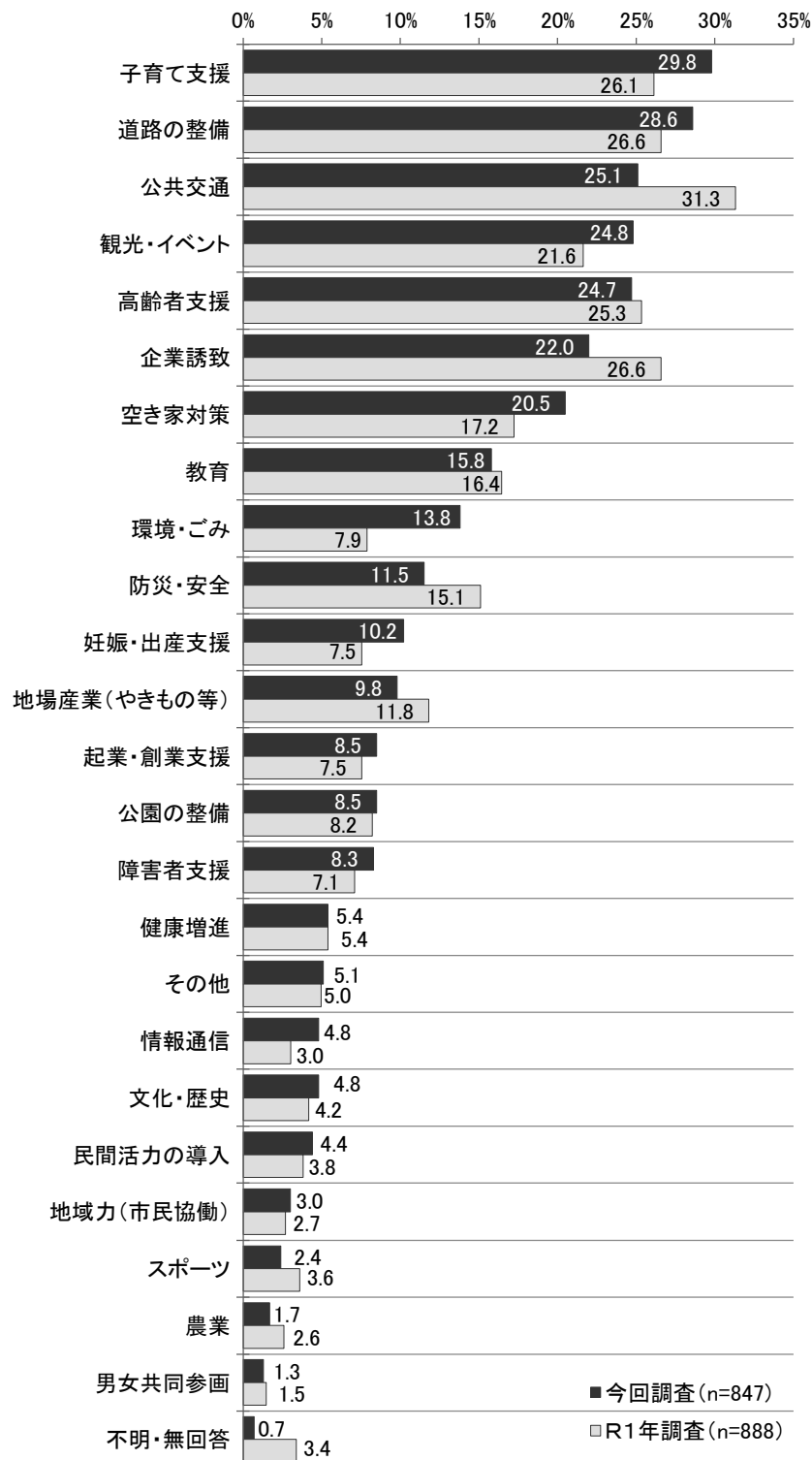
■そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □不明・無回答

(6) 力を入れていくべき分野について

問6 瀬戸市のまちづくりについて、どの分野に力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答)

瀬戸市のまちづくりで力を入れるべき分野について、全体では「子育て支援」が29.8%と最も高く、次いで「道路の整備」が28.6%となっています。

R1年調査と比較すると、今回調査では「環境・ごみ」「空き家対策」「子育て支援」等の分野で高くなっています。



男女別にみると、男性は「道路の整備」が30.6%と最も高く、女性は「子育て支援」が29.4%と最も高くなっています。

年齢別にみると、10～40歳代は「子育て支援」が最も高く、50歳代は「道路の整備」、60歳代、70歳以上は「高齢者支援」が最も高くなっています。

圏域別にみると、北部、東部、中部圏域では「道路の整備」が最も高く、西部、南部圏域では「子育て支援」が最も高くなっています。

(単位:%)

	観光・イベント	企業誘致	起業・創業支援	男女共同参画	妊娠・出産支援	子育て支援	高齢者支援	障害者支援	健康増進	教育	情報通信	空き家対策	道路の整備
【男女別】													
男性(n=444)	24.3	24.5	10.4	1.4	8.8	30.2	22.5	9.5	5.0	15.8	4.5	18.9	30.6
女性(n=401)	25.4	19.0	6.5	1.2	11.7	29.4	27.2	7.0	6.0	16.0	5.2	22.4	26.4
【年齢別】													
10・20歳代(n=141)	31.2	13.5	9.9	4.3	19.1	35.5	11.3	6.4	5.7	22.0	5.7	16.3	28.4
30歳代(n=43)	24.5	20.3	7.7	0.0	18.9	55.2	9.1	9.8	1.4	24.5	2.1	17.5	25.9
40歳代(n=166)	28.3	26.5	8.4	1.2	7.8	41.6	11.4	12.0	3.6	24.7	4.8	22.3	23.5
50歳代(n=134)	27.6	27.6	11.2	0.0	5.2	9.7	32.1	10.4	5.2	5.2	7.5	23.9	32.8
60歳代(n=122)	23.8	18.9	5.7	0.0	5.7	18.9	41.0	8.2	7.4	8.2	5.7	20.5	32.0
70歳以上(n=141)	12.8	24.1	7.8	2.1	3.5	12.8	48.2	2.1	9.9	7.1	3.5	22.7	30.5
【圏域別】													
北部圏域(n=185)	27.6	21.6	8.6	0.0	11.9	26.5	22.2	7.0	4.3	15.7	3.2	18.9	33.0
東部圏域(n=113)	23.9	15.0	5.3	0.9	6.2	22.1	20.4	7.1	4.4	14.2	4.4	17.7	40.7
中部圏域(n=157)	25.5	26.1	8.3	0.6	8.9	29.3	22.3	3.8	6.4	12.1	6.4	21.0	34.4
西部圏域(n=97)	25.0	31.5	13.0	2.2	15.2	32.6	27.2	8.7	3.3	17.4	4.3	19.6	21.7
南部圏域(n=292)	23.3	19.9	8.2	2.1	9.6	33.9	28.1	11.6	6.5	18.2	5.5	23.3	20.5

	公園の整備	公共交通	(市民協働)地域力	防災・安全	民間活力の導入	スポーツ	文化・歴史	環境・ごみ	農業	(やきもの等)地場産業	その他	不明・無回答
【男女別】												
男性(n=444)	7.4	23.6	3.6	11.0	3.6	3.2	4.7	13.7	1.6	11.9	4.3	0.5
女性(n=401)	9.5	26.7	2.2	11.7	5.2	1.5	5.0	14.0	1.7	7.2	5.7	1.0
【年齢別】												
10・20歳代(n=141)	7.1	20.6	1.4	12.1	1.4	5.7	6.4	15.6	1.4	10.6	2.8	0.0
30歳代(n=143)	14.7	16.1	1.4	7.7	4.2	2.8	3.5	9.1	1.4	9.8	4.9	1.4
40歳代(n=166)	13.3	19.9	3.6	10.2	3.0	1.8	6.0	7.8	1.2	9.0	4.8	0.0
50歳代(n=134)	3.7	23.9	2.2	15.7	6.0	2.2	7.5	14.9	1.5	11.9	7.5	0.7
60歳代(n=122)	6.6	32.0	4.9	13.1	3.3	0.0	4.1	18.0	1.6	11.5	7.4	0.0
70歳以上(n=141)	4.3	40.4	4.3	10.6	8.5	1.4	1.4	19.1	2.8	6.4	3.5	2.1
【圏域別】												
北部圏域(n=185)	8.6	27.0	2.2	9.7	3.8	2.2	9.7	11.4	2.7	11.9	3.8	1.1
東部圏域(n=113)	8.8	39.8	1.8	11.5	3.5	3.5	4.4	19.5	0.9	18.6	2.7	0.9
中部圏域(n=157)	7.0	22.9	0.6	12.1	4.5	3.2	3.2	15.9	1.9	12.1	7.0	0.0
西部圏域(n=97)	7.6	19.6	3.3	10.9	6.5	2.2	5.4	5.4	0.0	4.3	5.4	0.0
南部圏域(n=292)	9.6	20.9	5.1	12.0	4.5	1.7	2.4	15.1	1.7	5.1	5.5	1.0

※「不明・無回答」を除き、回答の割合が高いものの第1位と第2位に網掛けをしています。

問6 瀬戸市のまちづくりについて、どの分野に力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答)

問6で選択肢「④その他」を選択した方が記入された内容を都市像ごとに整理します。

都市像① 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち
雇用対策
就業支援。(40歳代)
道路・河川施設等
子どもも高齢者も安全に暮らせるよう、歩道を通る自転車が車道を通れるよう道を広くするなどの道路整備をし、誰もが安全に移動できる街づくり、それに合わせた建物の建設をし、自然への配慮も考えた瀬戸市の発展。(10・20歳代)
ライフライン施設を充足させることで住みやすさをより改善。(10・20歳代)
矢田川の整備を尾張旭の様にすべき、それが公園整備、健康増進にもつながる。(40歳代)
自転車道の整備。瀬戸市から長久手への県道57,207は高校生の自転車が多く通るが、自転車は原則的に車道を通らなければならない。車のスピードが速く危険であるために高校生は集団で歩道を走る。自転車も危険であるが歩行者も危険である。(50歳代)
セットバックをすぐやれ。(50歳代)
団地の駐車対策。(50歳代)
溝の蓋が無く、子ども達が落ちそうになった。(60歳代)
道路草刈り。(70歳以上)
陶の路がかなり傷んでいます。危険な箇所もあります。直してください。(70歳以上)
公共交通
名古屋や豊田へのアクセスをより良くすることで、そこに勤める人のホームタウンという立ち位置をメインに人口を上げていくこと(赤津方面など特に)。(10・20歳代)
市の発展のため、名古屋よりの人口増加に力を入れ、瀬戸線の特急乗り入れ対策。(70歳以上)
瀬戸駅南(アピタ・名古屋銀行このあたり)バス停をつくってほしい。買い物に不便です。(70歳以上)
交通流対策
矢印信号機。(30歳代)
観光産業
ご当地お土産。(50歳代)
商業施設等
商業施設。(40歳代)
モリコロパークができて沢山の人が来るので赤津の辺りにホテル、商業施設をつくって瀬戸市を知って貰い経済効果が出るような取組。(50歳代)
商店、スーパー。(70歳以上)
デジタルシティ推進
ICT、DXの促進。(60歳代)
都市像② 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち
移住・定住支援
リフォームや新規住宅獲得への扶助に力を入れることで永住者も獲得。(10・20歳代)
結婚して瀬戸市に住もうとする若者を増やすためのアイデアがほしい。(30歳代)
新婚さんへの住宅。公園環境。(子育て) (60歳代)
新しい住民の転入。(60歳代)
妊娠・出産支援
少子化対策。(40歳代)
子育て支援
子どもが遊べる施設がもっと欲しい。(10・20歳代)
春日井の様に、ぐりんぐりん、ぐるっぼなど遊べる施設が欲しい。(40歳代)
子ども食堂。(50歳代)
下水道施設等
生活排水がそのまま流れているのを何とかしてほしい。(40歳代)
下水道の整備。(40歳代)
下水整備。(50歳代)

都市像② 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち
下水道施設等
下水道の完備。(60 歳代)
下水道。(70 歳以上)
都市像③ 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち
高齢者支援
瀬戸市の高齢化が進んでいるので、高齢者の支援の促進。(10・20 歳代)
介護する側への支援策。(30 歳代)
名古屋市に有る交通敬老パスと同様に名鉄電車、名鉄バスを使った交通敬老パス等。外出ができて元気であるためお願いします。(50 歳代)
金銭ではなくて心のケア。(70 歳以上)
障害者支援
特定疾患者への金銭的支援。(30 歳代)
生活困窮者支援
貧困者支援。(10・20 歳代)
ヤングケアラー支援。(30 歳代)
医療体制
総合病院。(30 歳代)
地域力（市民協働）
自治会、町内会のあり方。(高齢化していて役がまわってくるのが困るので、無くしてほしい。)(60 歳代)
環境・ごみ
閉鎖したリユース会場の復活。再設置し常設で、衣類、雑貨他、買い取り品不可の品で不必要な人から必要な人へ循環し、SDGs「リユース」復活して下さい。物価高、生活苦が進む中、リユース常設で助け合う。※家庭で衣料品、ギフト、靴、傘等、眠っている物品、無駄な品をリユースの有効活用でごみ減量化、推進して下さい。他の自治体でやっています。(60 歳代)
美しい村（地域）づくり。(60 歳代)
イノシシに困っています。駆除に力を入れてください。(70 歳以上)
多文化交流
海外交流。(60 歳代)
図書館施設
図書館を新しくして下さい。陶生病院の近くは道路が混む。暗くて天井が低い。駐車場が止めづらい。尾張旭市の公園のようにして下さい。(60 歳代)
行政
行政運営
瀬戸市長が地域への参加をしている姿を見たことも聞いたこともないので、市長の座にいるのだから、しっかりと努力をしてもらいたい。そんなこともできていないのに市民意向調査なんかとっても変わらない気がするが、地元への期待を込めて力を入れて欲しい。(10・20 歳代)
瀬戸市は他の市と比べても遅れている。古いと思います。もっと新しい事、進展していかないと、人口減少は止まらないと思います。若い人達が瀬戸市に住みたがらない。もっと若い人達の意見を聞いて、少しでも発展してくれることを願っています。(30 歳代)
瀬戸市に生まれ育ったから瀬戸で暮らしていますが、正直色々な面で瀬戸には魅力がありません。他の地域から越して来る人は少ないと思います。もっと頑張ってください！(50 歳代)
瀬戸市の衰退は前市長の失態ではと思う都市計画の結果です。朝日町の商店街に魅力的なお店ができた事は良いと思います。大阪府泉大津市の市長の発信する情報は解りやすく勉強になります。(70 歳以上)
課税と収納
働く環境。減税。(40 歳代)
その他
給料を上げる。(10・20 歳代)
全て。(50 歳代)
補助金等。(50 歳代)

3 參考資料 調查票

調査票



インターネット
回答はこちら

問1 あなた自身のことについておたずねします。
各設問について、次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

(1) あなたの性別についてお答えください。

回答欄

(1)

- | | |
|------|------|
| ① 男性 | ② 女性 |
|------|------|

(2) あなたの年齢についてお答えください。

(2)

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| ① 10・20歳代 | ② 30歳代 | ③ 40歳代 | ④ 50歳代 |
| ⑤ 60歳代 | ⑥ 70歳以上 | | |

(3) あなたのお住いの地域についてお答えください。

(3)

- | | | | | | |
|-------|-------|------------------|-------|-------|-------|
| ① 道泉 | ② 深川 | ③ 古瀬戸 | ④ 東明 | ⑤ 祖母懐 | ⑥ 陶原 |
| ⑦ 長根 | ⑧ 效範 | ⑨ 水南 | ⑩ 水野 | ⑪ 西陵 | ⑫ 原山台 |
| ⑬ 萩山台 | ⑭ 八幡台 | ⑮ 品野 | ⑯ 下品野 | ⑰ 山口 | ⑱ 本地 |
| ⑲ 菱野 | ⑳ 新郷 | ㉑ わからない(町名を記入:) | | | |

(4) あなたの家族構成についてお答えください。

(4)

- | | | | |
|----------|--------|-----------|--------------|
| ① ひとり暮らし | ② 夫婦のみ | ③ 2世代(親子) | ④ 3世代(親と子と孫) |
| ⑤ その他 | | | |

問2 あなたにとって、瀬戸市は住みやすいところですか。
次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

- | | |
|------------|--------------|
| ① 住みやすい。 | ② まあまあ住みやすい。 |
| ③ やや住みにくい。 | ④ 住みにくい。 |

問3 あなたは、今後も瀬戸市に住み続けたいですか。
次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① 今の場所に住み続けたい。 | ② 市内の別の場所で住み続けたい。 |
| ③ 市外に移りたい、または移る予定である。 | ④ わからない。 |

問4 あなたは、瀬戸市に愛着がありますか。
次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 愛着がある。 | ② まあまあ愛着がある。 |
| ③ あまり愛着はない。 | ④ 愛着はない。 |

問5 市のまちづくりに対するあなたのご意見をお伺いします。

以下の設問ごとに、あてはまる番号を「回答番号1～4」の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

番号	設 問	回答番号			
		そう思う	そう思う とどちらかといえば	そう思わない とどちらかといえば	そう思わない
(1)	瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。	1	2	3	4
(2)	あなた（あなたの家族）に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	1	2	3	4
(3)	新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。	1	2	3	4
(4)	瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	1	2	3	4
(5)	起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。	1	2	3	4
(6)	定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。	1	2	3	4
(7)	子育て支援などの生活に関わる情報や観光・イベント情報など、必要な情報が入手しやすい環境にあると思いますか。	1	2	3	4
(8)	ジェンダー平等の意識が浸透し、性別に関わりなく個人が活躍できる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
(9)	あなたの生活において、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活との調和）が実現できていると思いますか。	1	2	3	4
(10)	鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	1	2	3	4
(11)	車で市内をスムーズに移動できるよう、道路の整備が進められていると思いますか。	1	2	3	4
(12)	住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	1	2	3	4
(13)	身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。	1	2	3	4
(14)	子どもや若者、妊娠・子育て中の人困った時に気軽に相談できる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
(15)	豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	1	2	3	4



番号	設 問	回答番号			
		そう思う	そう思う どこらかと いえば、	どちらか といえば、 そう 思わない	そう 思わない
(16)	子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	1	2	3	4
(17)	将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	1	2	3	4
(18)	義務教育9年間を見通した小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながると思いますか。	1	2	3	4
(19)	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	1	2	3	4
(20)	外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
(21)	自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	1	2	3	4
(22)	誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道の整備が進められていると思いますか。	1	2	3	4
(23)	やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどを持ち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。	1	2	3	4
(24)	高齢者が地域の中で、生きがいを持って安心して暮らしていくことができる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
(25)	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。	1	2	3	4
(26)	市の計画やまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	1	2	3	4
(27)	自治会やNPO等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。	1	2	3	4
(28)	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
(29)	日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていると思いますか。	1	2	3	4



番号	設問	回答番号			
		そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(30)	省エネ行動や太陽光発電設備の導入など、家庭で地球温暖化対策に取り組むにあたり、必要な情報提供や支援が行われていると思いますか。	1	2	3	4
(31)	市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	1	2	3	4
(32)	市役所の窓口業務などにおいて、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。	1	2	3	4
(33)	瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4
(34)	スマートフォン等の決済アプリを利用した市税の納付や電子図書館など、デジタル技術の活用によって瀬戸市の行政サービスが向上したと思いますか。	1	2	3	4

問6 瀬戸市のまちづくりについて、どの分野に力を入れていくべきだと思いますか。

次の中からあてはまる番号を3つ選び、右の回答欄に記入してください。

回答欄

※「㉔ その他」の場合は、回答欄へ番号を記入するとともに、()へ内容を記入してください。

① 観光・イベント	② 企業誘致	③ 起業・創業支援
④ 男女共同参画	⑤ 妊娠・出産支援	⑥ 子育て支援
⑦ 高齢者支援	⑧ 障害者支援	⑨ 健康増進
⑩ 教育	⑪ 情報通信	⑫ 空き家対策
⑬ 道路の整備	⑭ 公園の整備	⑮ 公共交通
⑯ 地域力（市民協働）	⑰ 防災・安全	⑱ 民間活力の導入
⑲ スポーツ	⑳ 文化・歴史	㉑ 環境・ごみ
㉒ 農業	㉓ 地場産業（やきもの等）	㉔ その他（ ）

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月5日（水）までに
切手は貼らず、ご投函くださいますようお願いいたします。

第6次瀬戸市総合計画市民アンケート調査
【結果報告書】

発行年月 令和4年12月

発行 瀬戸市

編集 瀬戸市 経営戦略部 政策推進課
愛知県瀬戸市追分町64番地の1

T E L : 0561-88-2551

F A X : 0561-88-2505